Genie
A TEREX BRAND

操作説明書

SX™-105 XC™
SX™-125 XC™

CE

メンテナンス情報付き

英語版操作説明書の翻訳
Third Edition
Second Printing
Part No. 1331907JAGT

Manufacturer: CE

Terex Global GmbH
Bleicheplatz 2
Schaffhausen, 8200
Switzerland

EU Authorized representative:

Genie Industries B.V.
Boekerman 5
4751 XK OUD GASTEL
The Netherlands

UK Authorized representative:

Genie UK Limited
The Maltings
Wharf Road
Grantham
NG31 6BH
UK

目次

はじめに 1
シンボルと危険を表すイラストの定義 5
一般的な安全 8
作業員の安全 11
作業場の安全 12
説明 21
操作パネル 22
点検 31
操作手順 46
輸送および持ち上げの手順 64
メンテナンス 70
仕様 74

Copyright © 2016 Terex Corporation

第 3 版: 第 2 刷, 7 月 2026

「Genie」は米国およびその他の国における
Terex South Dakota, Inc. の登録商標です。

「SX」および「XC」は Terex South Dakota, Inc. の商標です。

準拠規格:

CE 機械指令 2006/42/EC
（2027 年 1 月 19 日まで有効）

機械規則 2023/1230/EC
（2027 年 1 月 20 日より施行）

はじめに

この説明書について

当社の製品をお選びいただき、ありがとうございます。当社はユーザーの安全を最優先に考えており、その達成には皆様のご協力が必要です。本著は、Genie 機械のユーザーもしくはオペレータのための操作および毎日の保守点検説明書となっています。

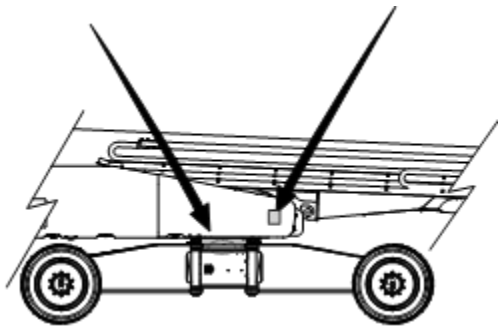
本説明書は機械の一部とみなされ、必ず機械と一緒に置かれていなければなりません。ご質問等がありましたら、Genie にお問い合わせください。

製品の識別

この機械のシリアル番号はシリアルラベルに記載されています。

シリアル番号はシャーシに記載

シリアルラベル（カバーの下）



用途および習熟ガイド

本機械は、作業員を工具や機材と共に高所作業場まで上げることを用途としています。機械を操作する前に、この訓練ガイドを読み、理解することはオペレータの任務です。

- ☑ 各作業員は可動式上昇作業台（MEWP）を操作するためのトレーニングを受けなければなりません。
- ☑ MEWP の訓練は認定され、技能を持ち、トレーニングされた担当者に実施されなければなりません。
- ☑ トレーニングを受け、認定された担当者のみが機械を操作することを許可されなければなりません。
- ☑ 操作説明書の製品取扱説明書と安全規則をよく読み、理解し、従うことはオペレータの任務です。
- ☑ 操作説明書は作業台のマニュアル保管場所にあります。

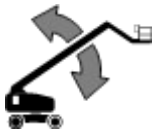
はじめに

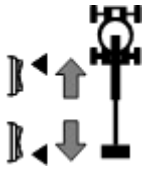
作業台操作の記号論とそれに関連する機械の動作は以下のとおりです。


作業台の高さ


作業台回転


ジブブーム上昇/下降


ブーム上昇/下降

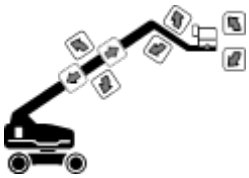

ブーム延長/収縮


ターンテーブル回転


走行前進/逆進


操舵右/左

地上操作の記号論とそれに関連する機械の動作は以下のとおりです。


作業台の高さ、ジブブーム上昇/下降、ブーム延長/収縮、およびブーム上昇/下降


ターンテーブル回転および作業台回転

連続機能と動作は以下のとおりです。

- 走行および操舵。

インターロック機能は以下のとおりです。

- 上昇時走行速度。
- 非水平状態での上昇時の走行。
- 非操舵ホイールを越えてブームが回転している場合の走行機能。
- 全ての作業台および地上操作。

使用の制限は以下の場合です。

- 本機械は、作業員を工具や機材と共に高所作業場まで上げることを用途としています。
- 機械がしっかりとした平坦な地面に設置されている場合以外は、作業台を上昇させないでください。

安定性増強とは以下を示します。

- フォームタイヤ（搭載されている場合）。

制限された動作包絡面は以下のとおりです。

- 1,000 lbs/454 kg 作業台積載重量

はじめに

通知の配布と準拠

製品ユーザーの安全は Genie の最優先事項です。数多くのさまざまな通知は Genie が販売業者および機械の所有者に重要な安全規約と製品情報を知らせるために使用されます。

通知に含まれる情報は、機械モデルとシリアル番号を使用して特定の機械に関連付けられています。

通知の配布は、お客様を担当している販売業者によって記録されている最新の所有者情報に基づいて行われます。そのため、ご利用の機械を登録し、連絡先情報を更新することは重要です。

従業員の安全、使用している機械の継続した安全な操作を保証するために、それぞれの通知に記載されている事項に必ず準拠してください。

ご利用の機械に関する公開されている通知は www.genielift.com にアクセスしてご確認ください。

適合宣言書

適合宣言書の原本は https://my.genielift.com で入手いただけます。

製造者への連絡

Genie にご連絡いただく必要が出てくる場合があるかもしれません。その場合には、ご利用の機械のモデル番号とシリアル番号、またお客様のお名前とご連絡情報とを合わせて提供いただくためのご準備をお願いいたします。Genie にご連絡いただく事項には最小限であっても以下があります。

事故のご報告

製品の適用性および安全性に関するご質問

標準および法規制の順守情報

機械の所有権の変更、または連絡情報の変更などの現在の所有者情報の更新以下の「所有権の譲渡」を参照してください。

機械所有権の譲渡

所要時間数分で所有者情報を更新していただくと、ご利用の機械に適用する重要な安全、保守および操作に関する情報を取得できます。

www.genielift.com にアクセスしてただくか、またはフリーダイヤル 1-800-536-1800 までご連絡いただき、ご利用の機械をご登録ください。

はじめに



危険

本説明書の操作指示と安全規則に従わなかった場合、死亡または重傷事故の原因となることがあります。

操作を行う必須条件は、以下のとおりです。

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施してください。

1 危険な状態での使用を避ける。

次のセクションに進む前に、安全規則を承知し理解する。

2 必ず操作前の点検を行う。

3 使用する前に必ず機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

☑ 製品取扱説明書と安全規則 ― 安全マニュアルおよび操作説明書と機械ステッカーをよく読み、理解し、それに従う。

☑ 従業員の安全規則と作業場所の規則をよく読み、理解し、それに従う。

☑ 該当するすべての法規をよく読み、理解し、それに従う。

☑ 使用者は安全に機械操作を行うための適切なトレーニングを受ける。

安全ステッカーの保守

安全ステッカーがない場合または破損している場合は、新しいステッカーを貼付します。常にオペレータの安全に配慮してください。安全ステッカーの汚れを取るには、刺激の少ないせっけんと水を使用します。安全ステッカーの素材を傷つける場合があるため、溶剤を使用したクリーナーを使用しないでください。

危険の分類

製品ステッカーは、識別しやすいよう、下記のようなシンボル、色別コード、および注意喚起語を使用しています。



安全警報マーク ― ケガの危険があることを知らせます。ケガや死亡の危険を避けるために、このシンボルの安全警告に従ってください。

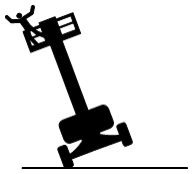
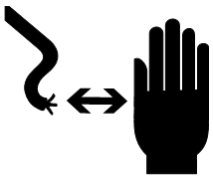
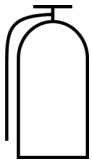
▲ 危険 回避しないと、重傷または死に至る危険があることを示します。

▲ 警告 回避しないと、重傷または死に至る可能性のある危険があることを示します。

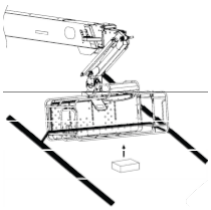
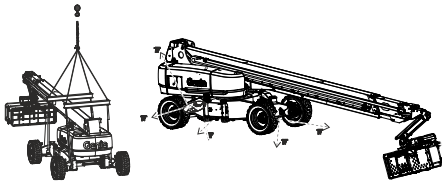
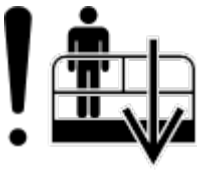
▲ 要注意 回避しないと、軽度または中程度のケガを負う可能性のある危険があることを示します。

注意 物品の損傷に関するメッセージです。

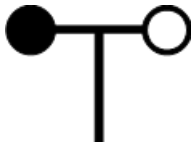
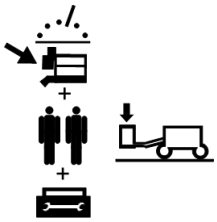
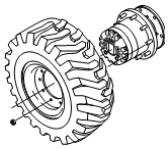
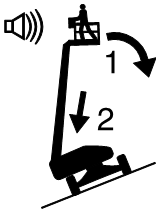
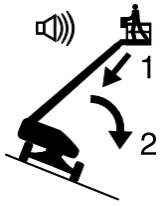
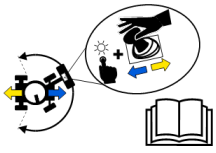
シンボルと危険を表すイラストの定義

				
挟まる危険	可動部に近づかないでください	挟まる危険	頭上の障害物	衝突の危険
				
感電の危険	必要な間隔を維持してください	転倒の危険	転倒の危険	転倒の危険
				
感電の危険	接触を避ける	バッテリーの切り離し	操作説明書を読んでください	サービスマニュアルを読んでください
				
爆発の危険	禁煙。 火気厳禁。 エンジン停止。	爆発の危険	やけどの危険	消火器

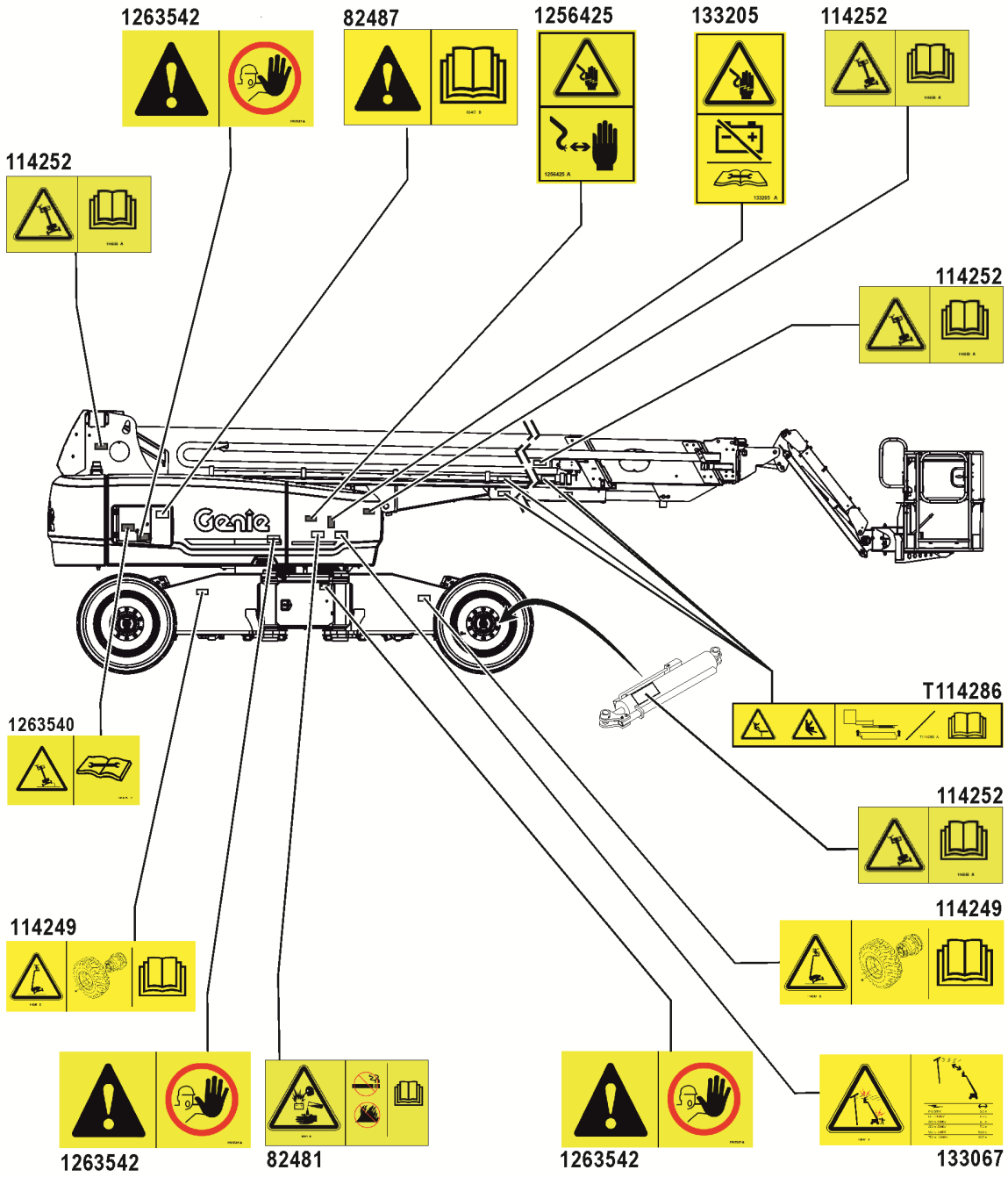
シンボルと危険を表すイラストの定義

				
火災の危険	禁煙。	爆発の危険	踏まない	安全帯固定場所
				
作業台の荷締め手順	吊り上げ&荷締め手順		最大積載荷重量	補助下降
				
荷締めの手順	吊り上げ点	作業台過負荷	保守作業中は作業台またはブームを支える	

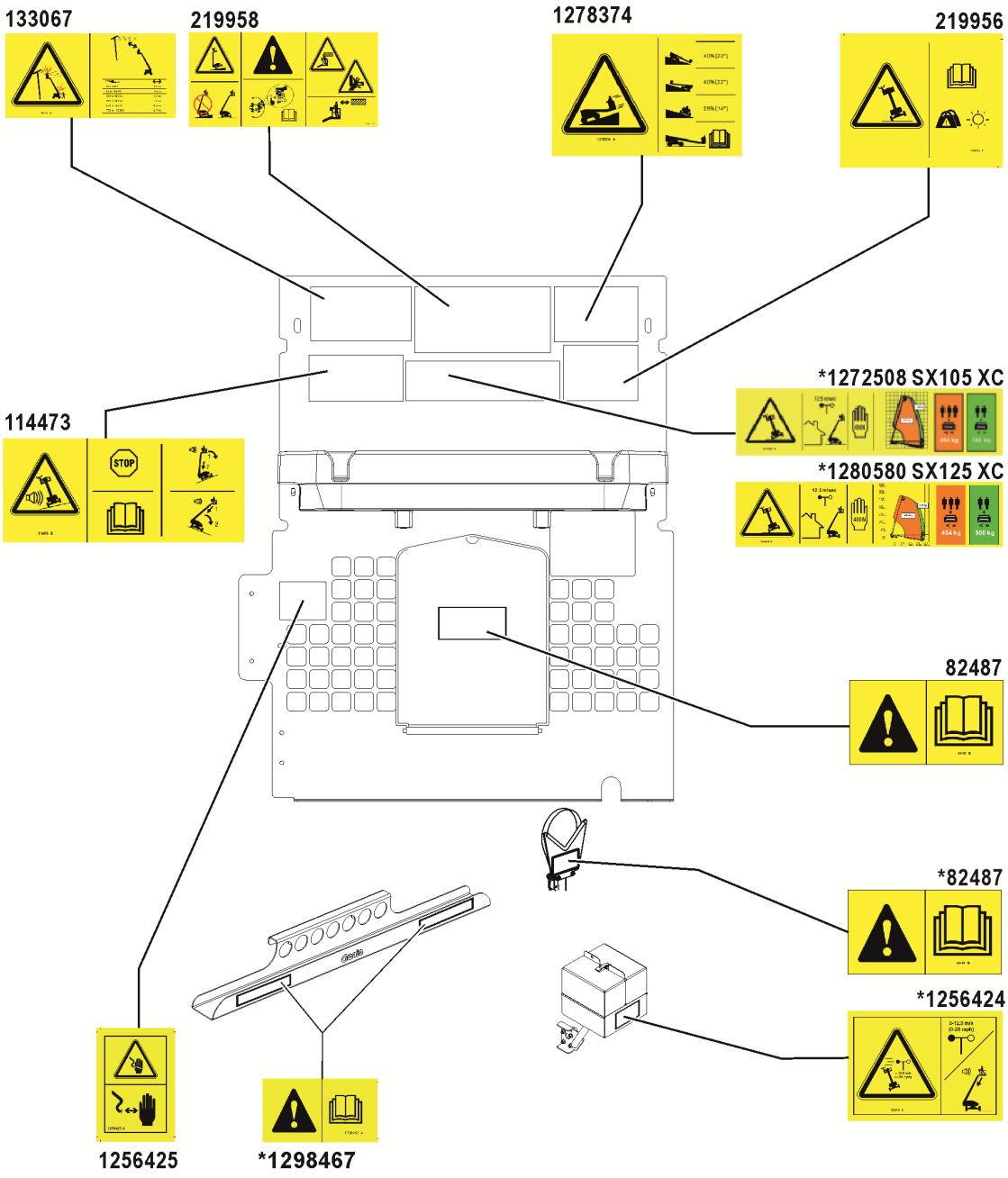
シンボルと危険を表すイラストの定義

 風速	 暴走の危険	 最大積載荷重量には溶接機の重量が含まれます。	 車輪荷重	 タイヤ仕様
上昇中に傾斜アラームが鳴った場合の復元手順  上り傾斜にある作業台: 1 ブームを下ろします。 2 ブームを収縮します。	 下り傾斜にある作業台: 1 ブームを収縮します。 2 ブームを下ろします。	 グロープラグを搭載した機械に、エーテルなどの高エネルギーな始動補助剤を使用しないでください。	 作業台への電力の定格電圧	 作業台への空気配管の定格圧力
 色分けされた方向矢印	 トレーニングを受け認定された担当者のみによるアクセス	 外圧		

一般的な安全

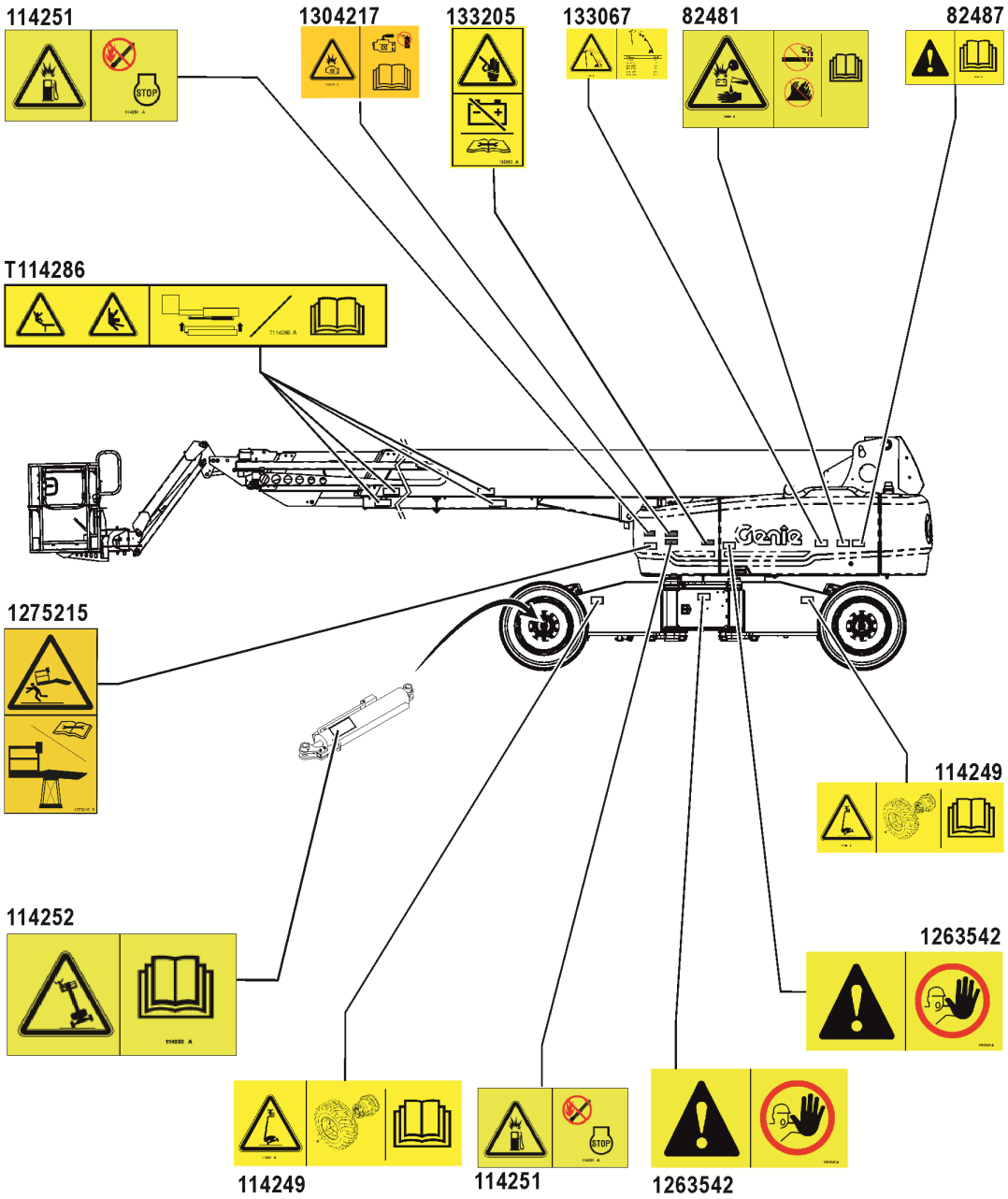

1263542
82487
1256425
133205
114252
114252
114252
1263540
T114286
114252
114249
114249
1263542
82481
1263542
133067

一般的な安全



* これらのステッカーはモデル、オプションまたは構成の仕様を示します。

一般的な安全


114251
1304217
133205
133067
82481
82487
T114286
1275215
114249
114252
1263542
114249
114251
1263542

作業員の安全

作業員の落下防止

この機械を操作する際、落下防止装置 (PFPE) の着用が必要です。

作業員は、法規に従って安全ベルトまたはハーネスを着用する必要があります。安全帯を作業台のアンカーに取り付けてください。

安全装備の使用に関して、作業員は従業員規則、作業現場の規則、および法規に従う必要があります。

すべての PFPE は、適用した法規に準拠したものでなければならず、PFPE 取扱説明書の指示に従って検査して使用してください。

作業場の安全

⚠ 感電の危険

この機械は絶縁されておらず、電流との接触または電流への近接に対する保護は施されていません。



電線から離す必要のある距離については、地域および国のすべての規制に従ってください。少なくとも、以下の表に記載の必要距離を空けなければなりません。

線間電圧	必要な距離
0 ～ 50KV	3.05 m
50 ～ 200KV	4.60 m
200 ～ 350KV	6.10 m
350 ～ 500KV	7.62 m
500 ～ 750KV	10.67 m
750 ～ 1000KV	13.72 m

作業台の動きや電線の揺れやたるみを考慮にいれ、強風および突風に注意してください。



通電している電線に機械が接触している場合は、機械に近づかないでください。地上もしくは作業台の従業員は、電線の電気が止められるまで、絶対に機械に触れたり操作したりしないでください。

雷や暴風などの悪天候下では、機械を操作しないでください。

溶接するときに、機械をアースとして使用しないでください。

⚠ 転倒の危険

作業員、装備、および機材は、制限された範囲あるいは制限されない動作範囲において、作業台最大積載重量を超えてはなりません。

作業台最大積載重量 制限されない動作範囲	300 kg
最大作業員数	2
作業台最大積載重量 制限された動作範囲	454 kg
最大作業員数	3

定格 300 kg（制限されていない動作範囲）または 454 kg（制限された作業範囲）の作業台を定格負荷が異なる機械に取り付けないでください。最大積載重量についてはシリアルラベルをご覧ください。

作業場の安全

定格作業台最大積載荷重量には、パイプクレードル、溶接機などのオプションや付属品の重量が含まれるため、作業台積載荷重量からこれらの重量を差し引く必要があります。オプションおよび付属品に付いているステッカーを参照してください。

付属品を使用する場合には、付属品に付いているステッカー、指示およびマニュアルをよく読んで理解し、従ってください。



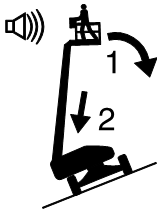
機械を固い水平な地面に設置している場合以外は、ブームを上昇もしくは延長しないでください。



水平位置の指標として傾斜アラームに依存しないでください。傾斜アラームは、機械が急な斜面にある場合にのみ作業台内で鳴ります。

作業台を上昇させるときに傾斜アラームが鳴った場合には、最新の注意を払ってください。斜面上におけるブームの状態が、以下のどれに当てはまるかを判断してください。固い水平な地面に移動する前に、手順に従ってブームを下げてください。作業台の下降中は、ブームを旋回しないでください。

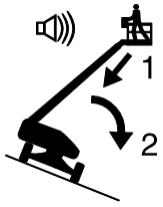
復元モードは、トレーニングを受け認定された担当者のみによって実施されなければなりません。



作業台が上り傾斜にあるときに傾斜アラームが鳴った場合には、以下の操作を行います。

1 ブームを下ろします。

2 ブームを収縮します。



作業台が下り傾斜にあるときに傾斜アラームが鳴った場合には、以下の操作を行います。

1 ブームを収縮します。

2 ブームを下ろします。



風速が秒速 12.5 m を超える場合はブームを上げないでください。秒速 12.5 m 以上の風速のもとでブームを上げている場合は、ブームを下げ、機械の操作を中止してください。

強風や突風の状況で機械を操作しないでください。作業台や積荷の表面積を大きくしないでください。風にあたる面積が増えるにつれて機械の安定性が低下します。

作業場の安全



平らでない場所、障害物のある場所、不安定な場所、または滑りやすい場所を、収納した状態で走行しているとき、あるいは、くぼみや急に低くなっている場所の近辺で走行しているときは、細心の注意を払うとともに、機械を減速してください。

平らでない不安定な地面、またはその他の危険がある状況では、ブームを上昇したあるいは延長した状態で機械を走行しないでください。

機械をクレーンとして使用しないでください。

機械や他の物体をブームで押さないでください。

ブームを近辺の建造物に接触させないでください。

ブームや作業台を近辺の建造物につながないでください。

作業台の周囲から荷物が突き出ないようにしてください。



作業台の外にある物体を押したり、引っ張ったりしないでください。

最大許容外圧力
90 lbs/400 N

機械の部品を改造したり、使用不能にしたりしないでください。機械の安全性と安定性に影響します。

機械の安定性に影響する部品を、重量や仕様の異なるものと取り替えないでください。

工場出荷時に取り付けられているタイヤを、異なる仕様またはプライ数評価値のものと交換しないでください。

空気タイヤを使用しないでください。これらの機械はフォームタイヤを装備しています。ホイールの重量は、安定性に大きな影響を及ぼします。

近くの構造物に挟まったり、引っ掛かったりして、通常の運行を妨げられている作業台を、作業台操作を使用して解放しようとしないでください。作業員が作業台から降りてから、地上操作を使用して作業台を解放してください。

製造元の書面による事前の許可なしに、可動式上昇作業台を変更、または改造しないでください。工具や他の機材を収納するためのアタッチメントを作業台、踏み板、またはガードレールに取り付けると、作業台の重量および作業台や積荷の表面積を増大させます。

作業場の安全



機械から荷物をぶら下げたり、取り付けたりしないでください。



はしごや足場を作業台に設置しないでください。また、本機械のどの部分にも立てかけないでください。

工具や機材を運ぶ場合は、作業台に均等に配置し、作業員が作業台で安全に使用できるようにしてください。

動いている、または動く可能性のある表面、もしくは車両上で機械を使用しないでください。

タイヤの状態がすべて良好であり、ラグナットが締められていることを確認してください。

⚠ 傾斜面での操作の危険

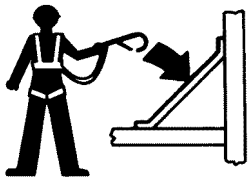
機械の最大上り、下りおよび横勾配の定格値を超える斜面では、機械を走行しないでください。定格勾配は、機械が収納状態の場合にのみ適用されます。

最大勾配の定格値、収納状態	
作業台が下り傾斜にある場合	40% (22°)
作業台が上がり傾斜にある場合	40% (22°)
横勾配	25% (14°)

注記：定格勾配は、1 名の作業員が作業台にいる場合と車輪と地面との摩擦の状態により異なります。作業台への追加の重量は定格勾配を低減する場合があります。操作手順の「傾斜面における走行」のセクションを参照してください。

作業場の安全

⚠ 落下の危険



作業員は、法規に従って安全ベルトまたはハーネスを着用する必要があります。安全帯を作業台のアンカーに取り付けてください。



作業台の手摺りの上に座ったり、立ったり、登ったりしないでください。作業台の上では常にしっかりとした足場を確保してください。



作業台が上がっている状態で、作業台から降りないでください。

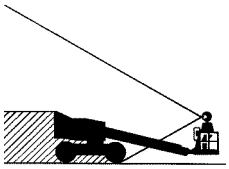
作業台の床面は、常にきれいにしておいてください。

操作前に、作業台出入口中間レールを下げるか、もしくは出入口ゲートを閉めてください。

機械が作業台を収納した状態で、作業台が地上にある場合以外は、作業台に出入りしないでください。

機械が高い位置の時に作業員が機械から出ようとする特定の場合の危険性については、設計の時に想定されています。詳細は Genie にお問い合わせください(「製造者への連絡」を参照)。

⚠ 衝突の危険



走行中または操作中は、視界の限度および死角に注意してください。

ターンテーブルを旋回しているときは、ブームの位置および後方車体の揺れに注意してください。



作業場において、頭上に障害物もしくは他に危険なものがないことを確認してください。



作業台の手摺りにつかまっているときは、手を挟まないよう注意してください。

作業員は、安全装備の使用において、従業員規則、作業場規則、および適合する法規に従わなければなりません。

作業場の安全

走行や操舵機能を使用する際は、作業台操作および走行シャーシの色分けされた方向矢印をよく見てください。



ブームを下げる場合は、下に人がいないこと、および障害物になるものがないことを確かめてください。



路面の状態、交通量、傾斜、人の位置、およびその他追突の要因となるものに従って、走行速度を制限してください。

クレーンの軌道内においてブームを操作する場合は、必ずクレーンの制御をロックし、衝突を防ぐための予防措置を講じてください。

機械の操作時は、危険な走行や乱暴な運転をしないでください。

⚠ 人体への傷害の危険

一酸化炭素中毒を避けるため、常によく換気された場所で機械を操作してください。

作動油や空気が漏れている状態で機械を操作しないでください。空気や作動油が漏れると、皮膚に染み込んだり、やけどを負う原因となります。

カバーの下の部品に不用意に触れると重傷を負うことがあります。適切なトレーニングを受けたメンテナンス担当者以外は、これらのコンパートメントへの作業を行わないでください。オペレータは、作業前の点検を行うときのみにこれらのコンパートメントにアクセスしてください。機械の操作中は、すべてのコンパートメントがしっかりと閉じられていなければなりません。

⚠ 爆発と火災の危険

LP ガス、ガソリン、ディーゼル、または他の爆発性物質の臭いがする場合、あるいはそれらを検知した場合は、エンジンを始動しないでぐださい。

エンジンが作動している状態で、燃料を補給しないでください。

燃料の補給とバッテリーの充電は、火花、炎、または火のついたタバコのない、換気された広い場所で行ってください。

可燃性ガス、爆発性ガス、もしくは微粒子が存在する危険な場所では、機械を操作したり、バッテリーを充電したりしないでください。

グロープラグを搭載したエンジンにエーテル製スプレーをかけないでください。

作業場の安全

⚠ 機械故障の危険

損傷もしくは故障している機械は使用しないでください。

作業シフトの前に、機械の操作前の点検を完全に行い、すべての機能をテストしてください。損傷もしくは故障している機械は、直ちに故障の貼り紙を付けて、作業を中止してください。

本説明書と Genie サービスマニュアルに記載されているすべてのメンテナンスを必ず行ってください。

すべてのステッカーが適切な位置にあり、文字が読める状態であることを確認してください。

操作説明書が完備され、文字が読める状態で、機械の保管場所に保管されていることを確認してください。

⚠ 部品の損傷の危険

ブースターケーブルを使ってエンジンを始動する場合は、12V より高いバッテリーもしくは充電器を使用しないでください。

溶接するときに、機械をアースとして使用しないでください。

非常に磁気の高い場所が近くに存在するような現場では、機械を操作しないでください。

⚠ バッテリーの安全管理

やけどの危険



バッテリーには酸が入っています。バッテリーを扱うときには、必ず保護服と保護メガネを着用してください。

バッテリーの酸をこぼしたり酸に触れたりしないようにしてください。バッテリー液がこぼれた場合は重曹と水を使って中和してください。

爆発の危険



火花、炎、火のついたタバコなどをバッテリーに近づけないでください。バッテリーは爆発性ガスを放出します。





⚠ 感電の危険

電気端子に触れないでください。

作業場の安全

⚠ 接触アラーム安全規則

接触アラームに付属しているすべての警告と指示をよく読み、理解し、それに従ってください。

定格作業台積載荷重量を超えないでください。定格作業台最大積載荷重量には接触アラームアッセンブリの重量が含まれるため、合計作業台荷重量からこれらの重量を差し引く必要があります。

接触アラームアッセンブリの重量は 10 lbs/4.5 kg です。

接触アラームがしっかりと設置されていることを確認してください。

⚠ パイプクレードルの安全

パイプクレードルに付いているすべての警告と指示をよく読み、理解し、それに従ってください。

定格作業台積載荷重量を超えないでください。パイプクレードルのアッセンブリとパイプクレードルの重量は定格作業台積載荷重量に含まれるため、作業台に載せることのできる積荷の合計荷重量は小さくなります。

パイプクレードルのアッセンブリの重量は 21 lbs/9.5 kg です。

パイプクレードルのアッセンブリの最大積載重量は 200 lbs/91 kg です。

パイプクレードルのアッセンブリとパイプクレードルの積荷の重量によって、作業台の最大作業員数が制限される可能性があります。

積荷を作業台の外周の中心に置いてください。

積荷を作業台に固定してください。

作業台への出入りが妨げられないようにしてください。

作業台操作や赤色の緊急停止ボタンの操作が妨げられないようにしてください。

荷がぶら下がっている状態の作業台の移動に関する危険について、すべて適切に指示され認識している場合以外は、操作を行わないでください。

機械に水平力あるいは側面荷重を与える原因になるので、固定されている積荷やぶら下っている状態の積荷を上下に移動させないでください。

感電の危険: パイプを通電状態の導体にいっさい近づけないでください。

作業場の安全

⚠ パネルクレードルの安全

パネルクレードルに付いているすべての警告と指示をよく読み、理解し、それに従ってください。

定格作業台積載荷重量を超えないでください。クレードル、パネル、作業員、工具、その他の機材を合わせた重量が最大定格重量を超えてはいけません。

パネルクレードルのアッセンブリの重量は 30 lbs/13.6 kg です。

パネルクレードルの最大積載重量は 250 lbs/113 kg です。

パネルクレードルとパネルクレードル内の積荷の重量によって、作業台の最大作業員数が制限される可能性があります。

クレードルを作業台に固定してください。付属のストラップでパネルを作業台の手摺りに固定します。

パネルを持ち上げる危険について、すべて適切に指示され、認識している場合以外は、操作を行わないでください。

機械に水平力あるいは側面荷重を与える原因になるので、固定されている積荷やぶら下っている状態の積荷を上下に移動させないでください。

パネルの最大垂直高さ:4 ft/1.2 m。

最大風速:15 mph/6.7 m/秒。

最大パネル面積:32 sq ft/3 m^2。

⚠ 溶接機の安全

溶接電源ユニットに付いているすべての警告と指示をよく読み、理解し、それに従ってください。

溶接リードまたはケーブルを接続する場合は、必ず溶接電源ユニットを作業台操作でオフにした状態で行ってください。

必ず溶接ケーブルが正しく接続され、溶接機が適切に接地されている状態で操作してください。

定格作業台最大積載荷重量には溶接機の重量が含まれるため、作業台に載せることのできる積荷の合計荷重量は小さくなります。溶接機の電源の重量は 75 lbs/34 kg です。

溶接機の操作は、必ず消火器が直ちに使用できるような状態で行ってください。

使用後のロックアウト

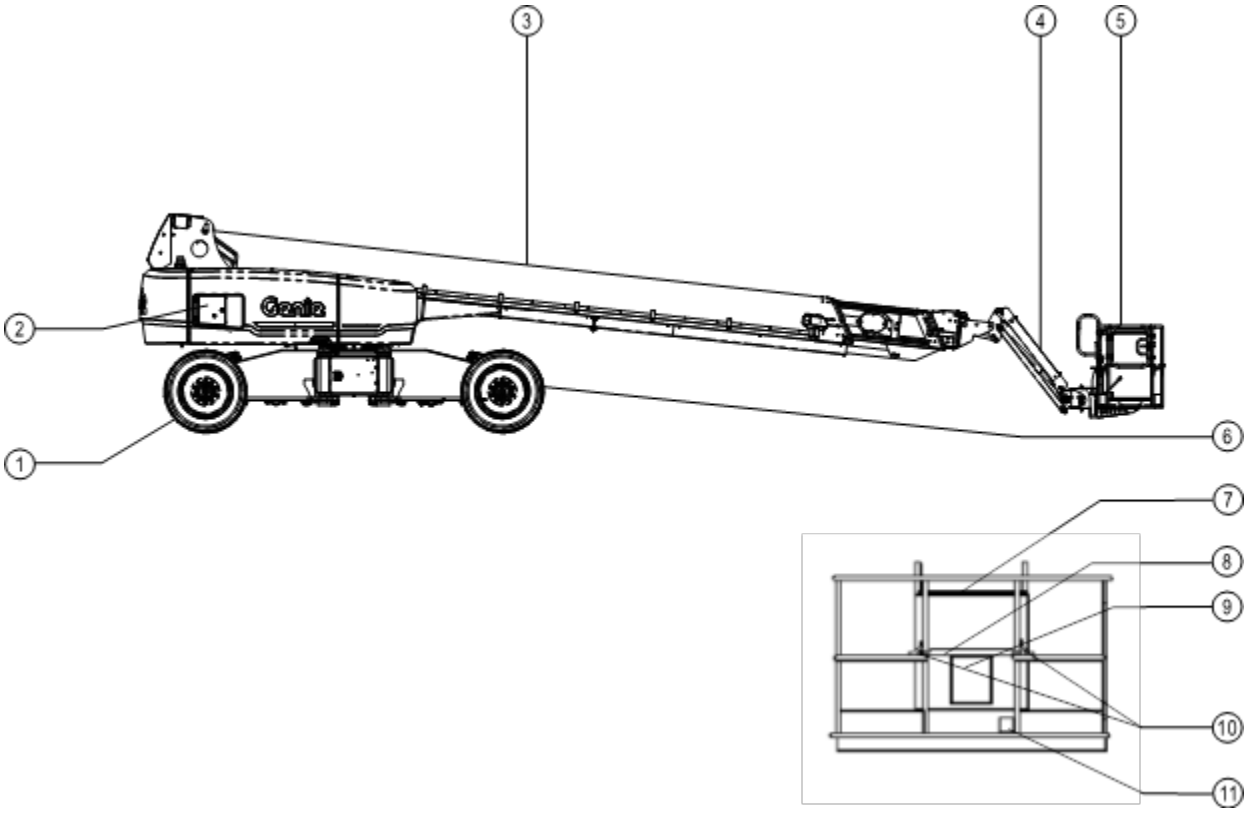
1 固い水平な地面で、障害物や人や車の往来のない、安全な駐車場所を選んでください。

2 ブームを収縮し、収納位置まで下げます。

3 ブームが丸印側のタイヤの間に位置するまで、ターンテーブルを旋回させます。

4 キースイッチをオフの位置に回し、関係者以外による使用を避けるためキーを取り外します。

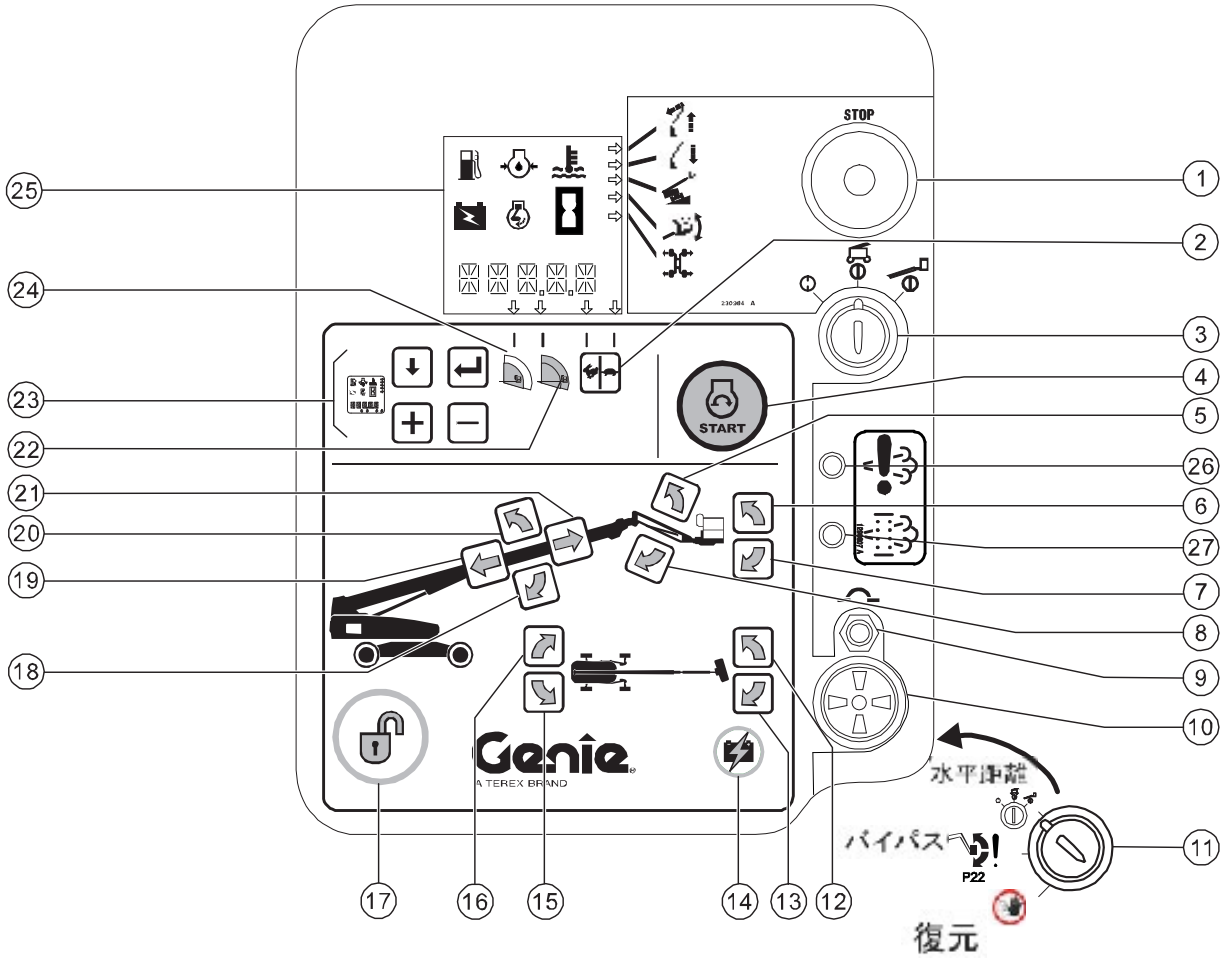
説明



1 四角形印側タイヤ
2 地上操作パネル
3 ブーム
4 ジブブーム
5 作業台
6 丸型側タイヤ
7 作業台操作パネル
8 スライド式中間レール
9 マニュアル保管場所
10 安全帯固定場所
11 ペダルスイッチ

操作パネル

地上操作ステーションは、保管する際の作業台上昇手段、および機能テストのために使用します。地上操作ステーションは、非常事態の際に、作業台に閉じ込められた作業員を救出するために使用することができます。作業台操作ステーションが選択されている場合、非常停止スイッチを含めた作業台操作は不可能になります。



地上操作パネル

操作パネル

地上操作パネル

1 赤色非常停止ボタン

赤色非常停止ボタンを押してオフの位置にすると、全機能が停止し、エンジンがオフになります。赤色非常停止ボタンを引いてオンの位置にして、機械を操作します。

2 機能速度選択ボタン

機能速度選択ボタンを押すと、機能速度を選択できます。カメの上の矢印が点灯すると、機械機能は低速で作動します。ウサギの上の矢印が点灯すると、機械機能は高速で作動します。

3 オフ/地上/作業台選択用キースイッチ

キースイッチをオフの位置に回すと、機械はオフになります。キースイッチを地上位置に回すと、地上操作が作動します。キースイッチを作業台の位置に回すと、作業台操作パネルが作動します。

4 エンジン始動ボタン

エンジン開始ボタンを押して、エンジンを開始します。

5 ジブブーム上昇ボタン

ジブブーム上昇ボタンを押すと、ジブブームが上昇します。

6 作業台水平上昇ボタン

作業台水平上昇ボタンを押すと、作業台が上昇します。

7 作業台水平下降ボタン

作業台水平下降ボタンを押すと、作業台が下降します。

8 ジブブーム下降ボタン

ジブブーム下降ボタンを押すと、ジブブームが下降します。

9 システム回路用 20A 回路ブレーカー

10 アラーム

11 バイパス/復元キースイッチ

作業台が水平でなく、作業台水平制御が作動していないことが地上操作パネルに表示されている場合に、作業台を水平にする目的のみでバイパスキーの位置での操作を実施します。操作手順を参照してください。

復元キーの位置での操作は、トレーニングを受け認定された担当者のみによって実施されなければなりません。

12 作業台右旋回ボタン

作業台右旋回ボタンを押すと、作業台が右に旋回します。

13 作業台左旋回ボタン

作業台左回転ボタンを押すと、作業台が左に旋回します。

14 補助動力ボタン

主電源（エンジン）が始動しない場合に、補助電源を使用します。
補助電源スイッチを片方に押し続けながら、同時に必要な機能を作動させます。

15 ターンテーブル旋回左ボタン

ターンテーブル旋回左ボタンを押すと、ターンテーブルが左に旋回します。

操作パネル

16 ターンテーブル旋回右ボタン

ターンテーブル旋回右ボタンを押すと、ターンテーブルが右に回転します。

17 機能作動スイッチ

機能作動ボタンを押したままにすると、地上操作パネルの機能を操作できます。

18 ブーム下降ボタン

ブーム下降ボタンを押すと、ブームが下降します。

19 ブーム収縮ボタン

ブーム収縮ボタンを押すと、ブームが収縮します。

20 ブーム上昇ボタン

ブーム上昇ボタンを押すと、ブームが上昇します。

21 ブーム延長ボタン

ブーム延長ボタンを押すと、ブームが延長します。

22 作業範囲が制限されていないこと表示するランプ

このランプが点灯すると、作業範囲が制限されません。

23 LCD 画面操作ボタン

24 作業範囲が制限されていることを表示するランプ

このランプが点灯すると、作業範囲が制限されます。

25 LCD 出力画面



- a 低燃料表示器
- b エンジンオイル圧表示器
- c 水温表示器
- d 補助電源表示器
- e エンジン回転数表示器
- f 時間計

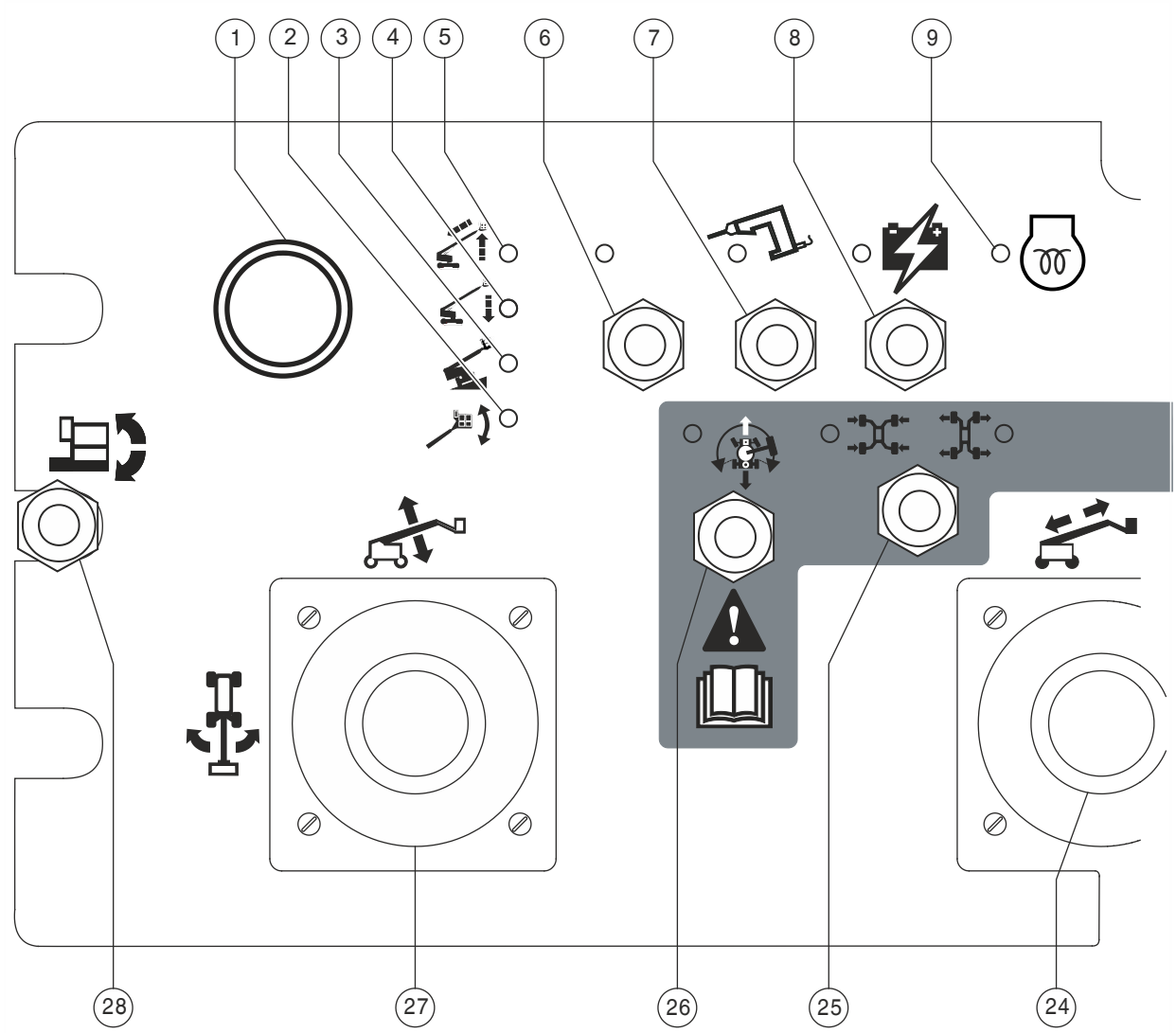
26 EAT 故障ランプ

EAT 故障ランプは、排気後処理システムに問題があることを示しています。サービスへお問い合わせください。

27 再生ランプ

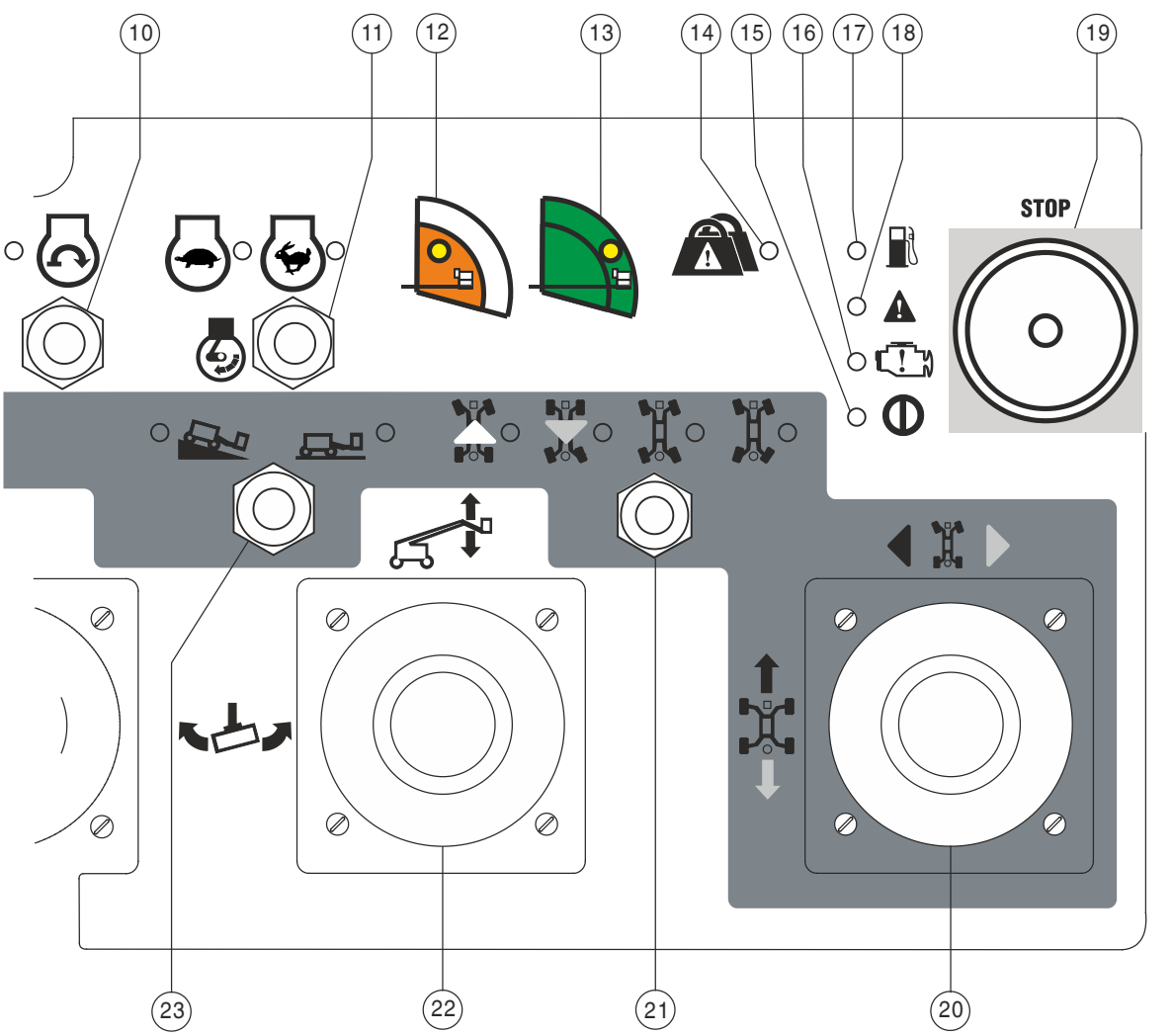
再生ランプが点滅したら、本取扱説明書の「作業台からの操作」のセクションに記載されている DPF 静止再生手順を実行してください。

操作パネル



作業台操作パネル

操作パネル



操作パネル

作業台操作パネル

1 ホーンボタン

このボタンを押すと、ホーンが鳴ります。ボタンを離すと、ホーンが止まります。

2 作業台非水平表示ランプ

作業台を水平にしてランプを消灯させます。作業台水平トグルスイッチは、作業台を水平にする方向にのみ動作します。

3 傾斜表示ランプのついている機械

ランプが点灯している場合は、すべての機能が停止しています。「操作手順」のセクションをご覧ください。

4 ブーム下降表示ランプ

ランプが消えるまでブームを下げます。

5 ブーム上昇 / 収縮表示ランプ

ランプが消えるまでブームを上昇 / 収縮します。

6 オプション装備用

7 表示ランプ付き発電機スイッチ

発電機スイッチを動かすと、発電機が起動します。発電機を停止するにはスイッチを再度動かします。

8 表示ランプ付き補助電源スイッチ

主動力源（エンジン）が始動しない場合、補助動力を使用してください。ペダルスイッチを踏みながら、同時に補助電源スイッチを動かし、必要な機能を作動させます。補助電源が使用されている間、表示ランプが点灯します。

9 ディーゼルモデル: グロープラグ表示ランプ

このランプが点灯すると、グロープラグが作動していることを示します。

10 表示ランプ付きエンジン始動スイッチ

エンジン始動スイッチを動かすと、エンジンが始動します。エンジン始動中にはエンジン始動表示ランプが点滅し、エンジンが作動すると点灯します。

11 表示ランプ付きエンジンアイドリング選択スイッチ:



このスイッチを動かして、エンジンアイドリング設定を選択します。ウサギマークのランプが点灯すると、高速アイドリングが選択されています。カメマークのランプが点灯すると、低速アイドリングが選択されています。

12 作業範囲が制限されていることを表示するランプ

このランプが点灯すると、作業範囲が制限されます。

操作パネル

13 作業範囲が制限されていないこと表示するランプ

このランプが点灯すると、作業範囲が制限されません。

14 作業台過負荷表示ランプ

作業台に負荷がかかりすぎている場合に、このランプが点滅します。エンジンが停止すると、すべての機能は作動しません。ランプが消えるまで、重量を減らしてください。その後エンジンを再始動します。

15 動力表示ランプ

機械が作動中はランプが点灯します。

16 エンジン点検表示ランプ

エンジンが故障した場合にランプが点灯します。

17 低燃料表示ランプ

機械の燃料が低下した場合にランプが点灯します。

18 障害表示ランプ

システムが故障した場合にランプが点灯します。

19 赤色非常停止ボタン

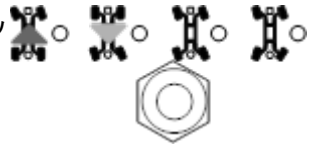
赤色非常停止ボタンを押してオフの位置にすると、全機能が停止し、エンジンがオフになります。赤色非常停止ボタンを引いてオンの位置にして、機械を操作します。

20 走行および操舵機能用ダブル車軸比例コントロール ハンドル
もしくは
走行機能用比例コントロール ハンドルおよび操舵機能用ロッカースイッチ。

操作パネルの青色矢印の方向にコントロール ハンドルを動かすと、機械が前方に走行します。コントロール ハンドルを黄色の矢印の方向へ動かすと、機械が後方に走行します。コントロール ハンドルを青色三角の方向へ動かすと、機械が左側に曲がります。コントロール ハンドルを、黄色の三角形の方向に動かすと、機械が右に曲がります。
もしくは
コントロール ハンドルを操作パネルの青色の矢印の方向に動かすと、機械が前方に走行します。コントロール ハンドルを黄色の矢印の方向へ動かすと、機械が後方に走行します。ロッカースイッチの左側を押すと、機械が左に曲がります。ロッカースイッチの右側を押すと、機械が右に曲がります。

操作パネル

21 表示ランプ付き操舵モード選択スイッチ



操舵モード選択スイッチを動かして、操舵モードを選択します。現在の操舵モードの横にある表示ランプが点灯します。

22 ジブブーム上昇/下降および作業台左/右旋回機能用のダブル車軸比例コントロールハンドル



コントロールハンドルを上に動かすと、ジブブームが上昇します。コントロールハンドルを下に動かすと、ジブブームが下降します。



コントロールハンドルを左に動かすと、作業台が左に旋回します。コントロールハンドルを右に動かすと、作業台が右に旋回します。

23 表示ランプ付き走行選択スイッチ



走行選択スイッチを動かして、走行設定を選択します。現在の設定の横にある表示ランプが点灯します。

機械が傾斜面上にあるシンボル：傾斜用のローレンジ運転。

機械が水平面上にあるシンボル：最大走行速度用のハイレンジ運転。

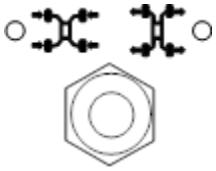
24 ブーム延長/収縮機能用単車軸比例コントロール ハンドル



コントロールハンドルを下に動かすと、ブームが延長します。コントロールハンドルを上に動かすと、ブームが収縮します。

操作パネル

25 表示ランプ付き車軸延長 / 収縮スイッチ



車軸選択スイッチを動かして、車軸設定を選択します。車軸が動いている間、車軸延長および収縮表示ランプが点滅します。車軸が完全に延長すると、車軸延長表示ランプが点灯します。車軸が完全に収縮すると、車軸収縮表示ランプが点灯します。

26 表示ランプ付き走行機能スイッチ



表示ランプがオンになると、ブームが丸印側のタイヤを越えて移動し、走行機能が妨げられたことを意味します。走行するには、走行機能スイッチを動かし、走行コントロールハンドルを中央位置からゆっくり動かします。作業台ボックスと走行シャーシにある色別された方向矢印で機械の進む方向を確認してください。

27 ブーム上昇/下降およびターンテーブル左右旋回機能用、ダブル車軸比例コントロール ハンドル



コントロールハンドルを上に動かすと、ブームが上昇します。コントロールハンドルを下に動かすと、ブームが下降します。



コントロールハンドルを左に動かすと、ターンテーブルが左に旋回します。コントロールハンドルを右に動かすと、ターンテーブルが右に旋回します。

28 作業台水平スイッチ



作業台水平スイッチを上に動かすと、作業台が上昇します。作業台水平スイッチを下に動かすと、作業台が下に移動します。

点検



操作を行う必須条件は、以下のとおりです。

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施してください。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 常に操作前の点検を行う。

次のセクションに進む前に、操作前の点検についてよく理解してください。

3 使用する前に必ず機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

操作前の点検の基本

操作前の点検と規定保守はオペレータが責任をもって行ってください。

操作前の点検とは、各シフトまたはオペレータの交代の前にオペレータが行う目視点検です。この点検はオペレータが機能テストを行う前に、目で点検して異常な箇所を見つけることを目的としています。

さらに操作前の点検によって、規定保守作業が必要かどうかを判断します。オペレータは、本説明書で指定されている規定保守項目のみを行ってください。

次のページのリストを参照し、それぞれの項目を確認してください。

損傷または工場出荷時の状態からの無許可での改造を発見した場合は、機械に故障中の貼り紙をつけて使用を停止してください。

機械の修理は、認定を受けたサービス担当者のみが製品仕様に基づいて行ってください。修理完了後、オペレータは機能テストに移る前に再度操作前の点検を行ってください。

定期保守点検は、認定を受けたサービス担当者が製品仕様と責務マニュアルに記載されている要項に基づいて行ってください。

試験および検査に関するすべての地域と政府の規制に従ってください。

点検

操作前の点検

- ❑ 操作説明書が完備され、文字が読める状態で、機械の保管場所に保管されていることを確認してください。
- ❑ すべてのステッカーが、文字が読める状態で所定の位置にあることを確認します。「点検」のセクションを参照してください。
- ❑ 作動油の漏れがなく、量が適当であることを確認してください。必要に応じてオイルを補充してください。「保守」のセクションを参照してください。
- ❑ バッテリー液の漏れがないか、量が適当かどうかを確認します。必要に応じて蒸留水を補充してください。「保守」のセクションを参照してください。
- ❑ エンジンオイルの漏れがないこと、適切な量であることをチェックします。必要に応じてオイルを補充してください。「メンテナンス」のセクションを参照してください。
- ❑ エンジン冷却液の漏れがないか、冷却液の量が適当かどうかをチェックしてください。必要に応じて冷却液を足してください。「メンテナンス」のセクションを参照してください。

以下の部品もしくは部分が損傷していたり、変更されていないか、きちんと設置されていなかったり、なくなっている部品がないかチェックしてください。

- ❑ 電気部品、配線、電気ケーブル
- ❑ 油圧ホース、フィッティング、 シリンダー、マニフォールド
- ❑ 燃料と油圧タンク
- ❑ 走行とターンテーブル用のモーター、および走行ハブ
- ❑ 磨耗板
- ❑ タイヤとホイール
- ❑ エンジンと関連部品
- ❑ リミットスイッチと警報
- ❑ 旋回センサー
- ❑ 操舵および車軸センサー
- ❑ アラームとビーコン（装備されている場合）
- ❑ ナット、ボルト、他の締め具
- ❑ 作業台出入口中間レールまたはゲート
- ❑ 作業台のロードセル
- ❑ 安全帯固定場所

機械全体にわたって下記をチェックします。

- ❑ 溶接や機械部品の割れ
- ❑ 機械のへこみと故障
- ❑ 過度のさび、腐敗または酸化

- ❑ 機械を構成している全ての部品が欠けておらず、適合するファスナーやピンが正しい位置にしっかりと締められた状態にあることを確認します。
- ❑ 点検が終了後、コンパートメントのすべてのカバーがすべてしっかりと閉められ、ラッチで留められていることを確認します。

点検



操作を行う必須条件は、以下のとおりです。

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施してください。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 必ず操作前の点検を行う。

3 使用する前に常に機能テストを行う。

次のセクションに進む前に、機能テストについてよく理解してください。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

機能テストの基本

機能テストは、機械を使用する前に故障を見つけることを目的としています。オペレータは、指示された手順に従ってすべての機能をテストしてください。

故障している機械は決して使用しないでください。故障が見つかった場合は、故障の貼り紙を付けて作業を中止してください。機械の修理は、認定を受けたサービス担当者のみがメーカーの製品仕様に基づいて行ってください。

修理が終了後、オペレータは機械を使用する前に、操作前の点検と機能テストを再度実行してください。

点検

地上操作

1 テストを行う場所として、障害物がなく、安定した平坦な場所を選びます。

2 キースイッチを回して地上操作に切り替えます。

3 赤色非常停止ボタンを引いてオンの位置にします。

⊙ 結果:ビーコンが点滅します (搭載されている場合)。

4 エンジンを始動させます。「操作手順」のセクションを参照してください。

非常停止のテスト

5 赤色非常停止ボタンを押してオフの位置にします。

⊙ 結果:エンジンが止まり、すべての機能が作動しません。

6 地上操作の赤色非常停止ボタンを引いてオンにしてエンジンを再始動します。

拡張可能な車軸のテスト

注記:このテストは車軸を収納した状態で行います。

7 地上操作で、機能作動ボタンを押し続け、ブーム上昇ボタンを押します。

⊙ 結果:ブームは約 10° まで上昇し、停止します。LCD 画面では、延長した車軸シンボルの横の矢印が点滅します。車軸が延長されない限り、ブームは上昇しません。

8 機能作動ボタンを押し続け、ブーム延長ボタンを押します。

⊙ 結果:ブームは 30 cm 延長し、停止します。LCD 画面では、延長した車軸シンボルの横の矢印が点滅します。車軸が延長されない限り、ブームは延長しません。

9 機能作動ボタンを押し続け、ブーム収納ボタンを押します。

10 機能作動ボタンを押し続け、ターンテーブル左旋回ボタンを押します。

⊙ 結果:ターンテーブルは 15°旋回し、停止します。車軸が延長されない限り、ターンテーブルは 15°以上は旋回しないはずです。

11 機能作動ボタンを押し続け、ターンテーブル右旋回ボタンを押します。

⊙ 結果:ターンテーブルは中央に戻り、右に 15° 旋回して停止します。車軸が延長されない限り、ターンテーブルは 15°以上は旋回しないはずです。

点検

12 キースイッチを回して作業台操作に切り替えます。作業台操作で、走行コントロールハンドルを前進方向に動かし、延長車軸トグルスイッチを動かします。

⊙ 結果:機械は走行し、車軸は延長しなければなりません。車軸が動いている間は、車軸延長および収縮表示ランプが点滅し、車軸が完全に延長しているときには、車軸延長ランプが点灯します。

13 地上操作に戻ります。キースイッチを回して地上操作に切り替えます。

14 機能作動ボタンを押し続け、ブーム上昇ボタンを押し、次にブーム下降ボタンを押します。

⊙ 結果:ブームは上昇し、通常通り下降しなければなりません。

15 機能作動ボタンを押し続け、ブーム延長ボタンを押し、次にブーム収縮ボタンを押します。

⊙ 結果:ブームは延長し、通常通り収納されなければなりません。

16 機能作動ボタンを押し続け、ターンテーブル左旋回ボタンを押し、次にターンテーブル右旋回ボタンを押します。

⊙ 結果:ターンテーブルは通常どおり旋回します。

機械機能のテスト

17 機能作動ボタンを押したままにしないでください。各ブームおよび作業台の機能ボタンが作動するか試行します。

⊙ 結果:ブームおよび作業台の機能は何も作動しません。

18 機能作動ボタンを押したままにし、各ブームおよび作業台の機能ボタンを有効にします。

⊙ 結果:ブームと作業台のすべての機能がフルサイクル作動します。ブームが下降しているときには下降アラームが鳴ります。

補助制御のテスト

19 赤色非常停止ボタンを押してオフの位置にすると、エンジンが停止します。

20 赤色非常停止ボタンを引いてオンにします。

21 同時に補助動力ボタンを押したままにし、各ブーム機能ボタンを押します。



注記:バッテリーの消耗を防ぐため、各機能を部分的なサイクルでテストしてください。

⊙ 結果:すべてのブーム機能が作動します。

22 エンジンを始動させます。

点検

傾斜センサーのテスト

23 TURNTABLE LEVEL SENSOR X-DIRECTION (ターンテーブル レベルセンサー X 方向) と表示されるまで、いずれかの LCD 画面コントロール ボタンを押します。



⊙ 結果:LCD 画面に角度が表示されます。

24 TURNTABLE LEVEL SENSOR Y-DIRECTION (ターンテーブル レベルセンサー Y 方向) と表示されるまで、LCD 画面コントロール ボタンを押します。

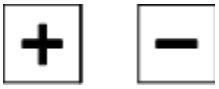
⊙ 結果:LCD 画面に角度が表示されます。

25 PLATFORM LEVEL SENSOR DEGREES（作業台レベルセンサー角度）と表示されるまで、LCD 画面コントロール ボタンを押します。

⊙ 結果:LCD 画面に角度が表示されます。

動作包絡面のテスト

26 同時に次の 2 つの LCD 画面コントロールボタンを押すと、ステータスモードが作動します。



27 PRIMARY ANGLE DEGREES（主角度）と表示されるまで、いずれかの表示されている LCD 画面コントロールボタンを押します。



28 ブームを上げて LCD 画面を確認します。

⊙ 結果: LCD 画面には重力によるブーム角度が表示されます。

29 LENGTH SENSOR EXTENSION INCHES（長さセンサーが検出した延長部分、インチ）と表示されるまで、次に表示されている LCD 画面コントロールボタンを押します。



30 ブームを延長し LCD 画面を確認します。

⊙ 結果: LCD 画面にはストリングポテンショメーターの延長した長さを表示します。

31 ブームを収縮します。

点検

作業台操作

非常停止のテスト

32 キースイッチを回して作業台操作に切り替えます。

33 作業台の赤色非常停止ボタンを押してオフにします。

⊙ 結果:エンジンが止まり、すべての機能が作動しません。

34 赤色非常停止ボタンを引いてエンジンを再始動します。

警報のテスト

35 ホーンボタンを押します。

⊙ 結果:ホーンが鳴ります。

傾斜センサーアラームのテスト

36 エンジンアイドリング選択スイッチなどのトグルスイッチを移動します。

⊙ 結果:作業台操作でアラームが鳴ります。

ペダルスイッチのテスト

37 作業台の赤色非常停止ボタンを押してオフにします。

38 赤色非常停止ボタンを引いてオンの位置にします。エンジンは始動しないでください。

39 ペダルスイッチを踏んでエンジンの始動を試みてください。

⊙ 結果:エンジンは始動しません。

40 ペダルスイッチを踏まずにエンジンを再始動します。

⊙ 結果:エンジンは始動します。

41 ペダルスイッチを踏まずに各機械機能をテストします。

⊙ 結果:機能は何も作動しません。

機械機能のテスト

42 ペダルスイッチを踏みます。

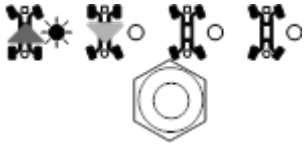
43 機械機能コントロール ハンドルまたはトグルスイッチを作動させます。

⊙ 結果:ブームと作業台のすべての機能がフルサイクル作動します。

点検

ステアリングのテスト

44 操舵モード選択スイッチを動かして、四角形印側（青色矢印）の操舵を選択します。



45 ペダルスイッチを踏みます。

46 走行コントロール ハンドルを操作パネルの青色の三角形の方向にゆっくりと動かすか、もしくはロッカースイッチを青色の三角形の方向に押します。

⊙ 結果：四角形印側のホイールが走行シャーシ上の青色の三角形が示す方向に回ります。

47 コントロール ハンドルを操作パネルの黄色の三角形の方向にゆっくりと動かすか、もしくはロッカースイッチを黄色の三角形の方向に押します。

⊙ 結果：四角形印側のホイールが走行シャーシ上の黄色の三角形が示す方向に回ります。

48 操舵モード選択スイッチを動かして、丸印側（黄色矢印）の操舵を選択します。



49 ペダルスイッチを踏みます。

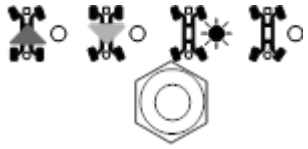
50 コントロール ハンドルを操作パネルの黄色の三角形の方向にゆっくりと動かすか、もしくはロッカースイッチを黄色の三角形の方向に押します。

⊙ 結果：丸印側のホイールが走行シャーシ上の青色の三角形が示す方向に回ります。

51 走行コントロール ハンドルを操作パネルの青色の三角形の方向にゆっくりと動かすか、もしくはロッカースイッチを青色の三角形の方向に押します。

⊙ 結果：丸印側のホイールが走行シャーシ上の黄色の三角形が示す方向に回ります。

52 操舵モード選択スイッチを動かして、クラブ操舵を選択します。



53 ペダルスイッチを踏みます。

54 走行コントロール ハンドルを操作パネルの青色の三角形の方向にゆっくりと動かすか、もしくはロッカースイッチを青色の三角形の方向に押します。

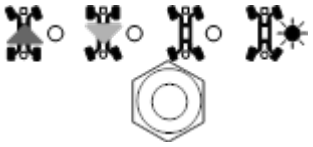
⊙ 結果：すべてのホイールが走行シャーシ上の青色の三角形が示す方向に回ります。

点検

55 コントロール ハンドルを操作パネルの黄色の三角形の方向にゆっくりと動かすか、もしくはロッカースイッチを黄色の三角形の方向に押します。

⊙ 結果:すべてのホイールが走行シャーシ上の黄色の三角が示す方向に回ります。

56 操舵モード選択スイッチを動かして、座標操舵を選択します。



57 ペダルスイッチを踏みます。

58 走行コントロール ハンドルを操作パネルの青色の三角形の方向にゆっくりと動かすか、もしくはロッカースイッチを青色の三角形の方向に押します。

⊙ 結果:四角形印側のホイールが走行シャーシ上の青色の三角形が示す方向に回ります。丸印側のホイールが走行シャーシ上の黄色の三角形が示す方向に回ります。

59 コントロール ハンドルを操作パネルの黄色の三角形の方向にゆっくりと動かすか、もしくはロッカースイッチを黄色の三角形の方向に押します。

⊙ 結果: 四角形印側のホイールが走行シャーシ上の黄色の三角形が示す方向に回ります。丸印側のホイールが走行シャーシ上の青色の三角形が示す方向に回ります。

走行とブレーキのテスト

60 ペダルスイッチを踏みます。

61 走行コントロールハンドルを操作パネルの青い矢印の方向に、機械が動き始めるまでゆっくりと動かしたあと、ハンドルを中央位置まで戻します。

⊙ 結果:機械が走行シャーシの青色矢印の方向に動き、急停車します。

62 コントロール ハンドルを操作パネルの黄色い矢印の方向に機械が動き始めるまでゆっくりと動かしたあと、ハンドルを中央位置まで戻します。

⊙ 結果:機械が走行シャーシの黄色矢印の方向に動き、急停車します。

注記:ブレーキは、機械が登ることのできるすべての斜面上で機械を止める能力を持っている必要があります。

点検

走行機能システムのテスト

63 ペダルスイッチを踏み、ブームを収納位置まで下げます。

64 ブームが丸印側のホイールを越え、走行機能アイコンに表示される範囲から出るまでターンテーブルを回転します。



⊙ 結果:走行機能表示ランプが点灯し、ブームが表示された範囲外にある間、点灯し続けます。

65 走行コントロール ハンドルを中心の位置から動かします。

⊙ 結果:走行機能は作動しません。

66 走行機能トグルスイッチを動かし、走行コントロールハンドルをゆっくりと中心の位置から動かします。

⊙ 結果:走行機能が作動します。

注記:走行機能システムを使用の際、走行および操舵コントロール ハンドルを動かした方向と反対の方向に機械が動く場合があります。

作業台操作および走行シャーシの色分けされた矢印で進む方向を確認してください。



走行機能トグルスイッチを動かしてから 2 秒以内に走行コントロールハンドルを動かさなかった場合には、走行機能は作動しません。

走行制限速度のテスト

67 ペダルスイッチを踏みます。

68 ブームを水平から 10° まで上昇させます。

69 走行コントロール ハンドルをゆっくりとフル走行の位置に動かします。

⊙ 結果:主ブームが上昇した状態での最大走行速度は秒速 18 cm を超えてはいけません。

注記:機械は 68 秒間に 12 m 走行します。

70 ブームを下ろし収納します。

71 ブームを 1.2 m 延長します。

72 走行コントロール ハンドルをゆっくりとフル走行の位置に動かします。

⊙ 結果:主ブームが上昇した状態での最大走行速度は秒速 18 cm を超えてはいけません。

注記:機械は 68 秒間に 12 m 走行します。

73 ブームを水平より 50° まで上昇させ、ブームを最大まで延長します。

74 走行コントロール ハンドルをゆっくりとフル走行の位置に動かします。

⊙ 結果:ブームが完全に延長した状態での最大走行速度は秒速 4.5 cm を超えてはいけません。

注記:機械は 270 秒間に 12 m 走行します。

点検

走行傾斜カットアウトのテスト

75 ペダルスイッチを踏みます。

76 ブームを完全に収納した状態で、シャーシ角度が Y 軸(前方から後方)に平行して 4.5° 以上になる傾斜面で機械を走行します。

⊙ 結果:機械は走行を続けます。

77 機械を水平な地面に戻し、ブームを約 91.4 cm 延長します。

78 シャーシ角度が Y 軸(前方から後方)に平行して 4.5° 以上になる傾斜面で機械を走行します。

⊙ 結果:機械のシャーシ傾斜が 4.5°になると、機械は停止し、作業台操作パネルでアラームが鳴ります。

79 ブームを収納位置まで格納するか、または逆進で走行します。

⊙ 結果:機械は走行します。

80 水平な地面に戻し、ブームを水平から約 15° 上昇します。

81 シャーシ角度が Y 軸(前方から後方)に平行して 4.5° 以上になる傾斜面で機械を走行します。

⊙ 結果:機械のシャーシ傾斜が 4.5°になると、機械は停止し、作業台操作パネルでアラームが鳴ります。

82 ブームを収納位置まで下げるか、または逆進で走行します。

⊙ 結果:機械は走行します。

83 水平な地面に戻し、ブームを収納します。

84 ペダルスイッチを踏みます。

85 ブームを完全に収納した状態で、シャーシ角度が X 軸(側面から側面)と平行に 3° 以上になる傾斜面で機械を走行します。

⊙ 結果:機械は走行を続けます。

86 機械を水平な地面に戻し、ブームを約 91.4 cm 延長します。

87 シャーシ角度が X 軸(側面から側面)と平行に 3° 以上になる傾斜面で機械を走行します。

⊙ 結果:機械のシャーシ傾斜が 3°になると、機械は停止し、作業台操作パネルでアラームが鳴ります。

88 ブームを収納位置まで格納するか、または逆進で走行します。

⊙ 結果:機械は走行します。

89 水平な地面に戻し、ブームを水平から約 15° 上昇します。

90 シャーシ角度が X 軸(側面から側面)と平行に 3° 以上になる傾斜面で機械を走行します。

⊙ 結果:機械のシャーシ傾斜が 3°になると、機械は停止し、作業台操作パネルでアラームが鳴ります。

91 ブームを収納位置まで下げるか、または逆進で走行します。

⊙ 結果:機械は走行します。

92 水平な地面に戻し、ブームを収納します。

点検

補助制御のテスト

93 赤色非常停止ボタンを押してオフの位置にすると、エンジンが停止します。

94 赤色非常停止ボタンを引いてオンにします。

95 ペダルスイッチを踏みます。

96 補助電源スイッチを押したままの状態にし、同時に各機能コントロールハンドル、トグルスイッチまたはサムロッカースイッチを作動させます。

注記:バッテリーの消耗を防ぐため、各機能を部分的なサイクルでテストしてください。

⊙ 結果:すべてのブームおよび操舵機能が作動します。

リフト/走行選択機能のテスト

97 ペダルスイッチを踏みます。

98 走行コントロールハンドルを中心の位置から動かし、ブーム機能コントロールハンドルを作動させます。

⊙ 結果:ブーム機能は何も作動しません。機械は、操作パネル上で示した方向に動きます。

接触アラームのテスト（搭載されている場合）

99 ペダルスイッチを作動させ、接触アラームケーブルを押すことで、スイッチソケットからアクチュエータを解除しないでください。

⊙ 結果:接触アラームランプが点滅せず、機械のホーンが鳴りません。

100ペダルスイッチを踏んで、作動させてください。

⊙ 結果:接触アラームランプが点滅し、機械のホーンが鳴ります。

101アクチュエータをスイッチソケットに挿入します。

⊙ 結果:ランプが消え、ホーンが止まります。

102ペダルスイッチを踏んで作動させ、接触アラームケーブルを押して、スイッチソケットからアクチュエータを解除してください。

⊙ 結果:接触アラームランプが点滅し、機械のホーンが鳴ります。

103機械の各機能を作動してください。

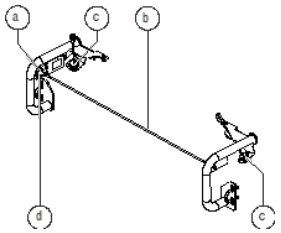
⊙ 結果:すべての機能は作動しません。

104アクチュエータをスイッチソケットに挿入します。

⊙ 結果:ランプが消え、ホーンが止まります。

105機械の各機能を作動してください。

⊙ 結果:すべての機能が作動します。



a アクチュエータ
b 接触アラームケーブル
c 点滅アラーム
d スイッチソケット

点検



操作を行う必須条件は、以下のとおりです。

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施してください。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 必ず操作前の点検を行う。

3 使用する前に必ず機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

次のセクションに進む前に、作業場の点検についてよく理解してください。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

作業場の点検の基本

作業場を点検することによって、オペレータは作業場が安全な機械操作に適しているかどうかを判断することができます。オペレータは、作業場に機械を移動する前に作業場の点検を行わなければなりません。

オペレータは作業場で起こりうる危険を心得た上で、機械の移動、セットアップ、運転の際に注意を払い、危険を回避してください。

作業場の点検

次の危険な状態に注意し、これらを回避してください:

- ❑ 急に低くなっているところ、くぼみ
- ❑ でこぼこした道、床の障害物もしくは破片
- ❑ 傾斜面
- ❑ 不安定な地面、滑りやすい地面
- ❑ 頭上の障害物、高圧送電線
- ❑ 危険な場所
- ❑ 機械の重量に耐えられない地面
- ❑ 風や天候の状態
- ❑ 関係作業員以外の人の存在
- ❑ その他、起こりうる危険な状態

点検

シンボル付きステッカーの点検

次ページの絵を見て、ステッカーの文字が読める状態で所定の位置に貼られていることを確認してください。

下記は、番号順に並べられたステッカーの数量と詳細です。

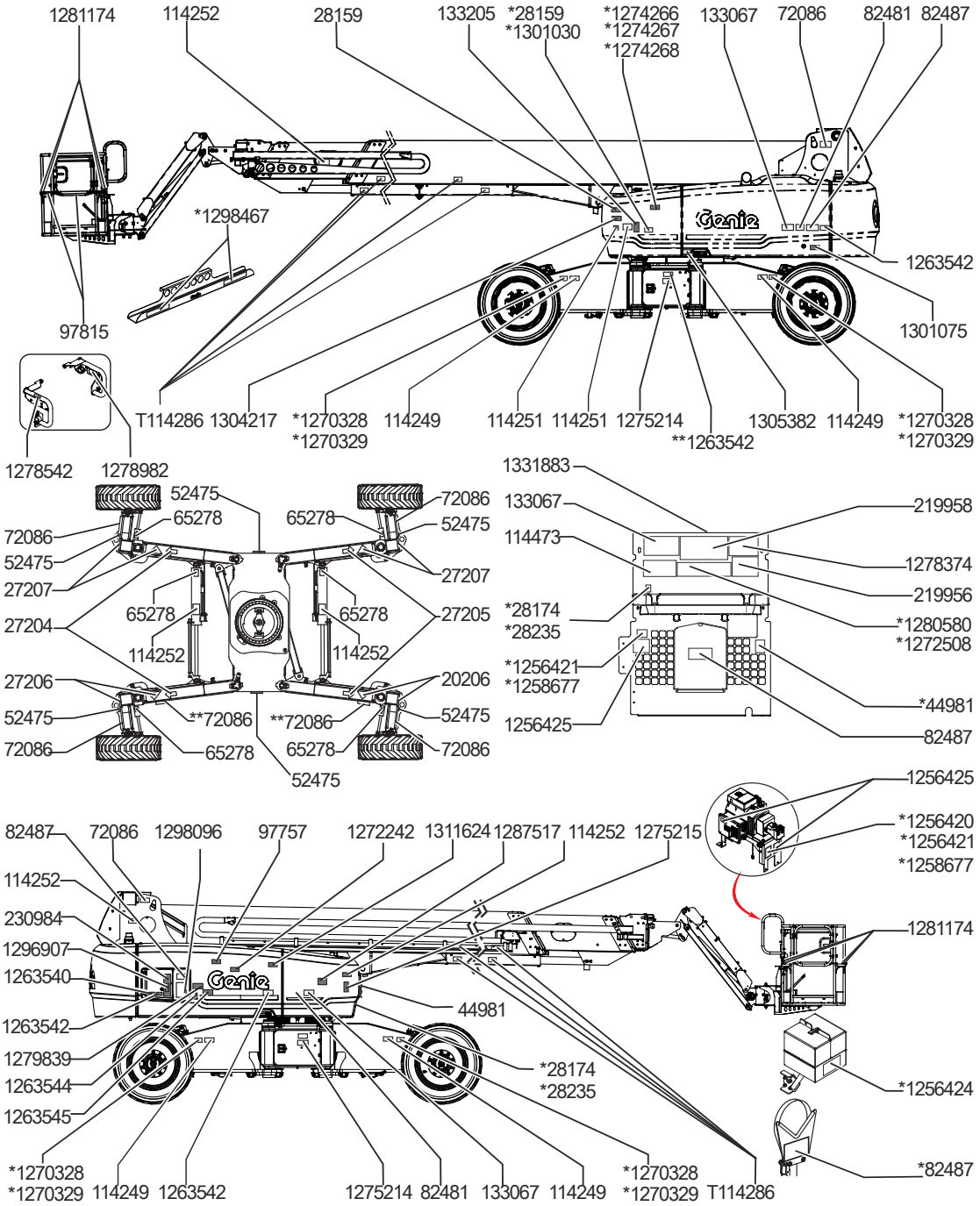
品番	ステッカーの説明	数量
27204	矢印 ― 青色	2
27205	矢印 ― 黄色	2
27206	三角 ― 青色	4
27207	三角 ― 黄色	4
28159	ラベル ― ディーゼル*	2
28174	ラベル ― 作業台への電力、230V	2
28235	ラベル ― 作業台への電力、115V*	2
44981	ラベル ― 作業台への空気管 (オプション)*	2
52475	ラベル ― 輸送用の荷締め	6
65278	要注意 ― 踏まない	6
72086	ラベル ― 吊り上げ点	10
82481	ラベル ― バッテリー/充電器の安全	2
82487	ラベル ― マニュアルを読む	2
82487	ラベル ― マニュアルを読む (パイプクレードル) (オプション)*	2
97757	ラベル ― 作動油量	1
97815	ラベル ― 中間レールを下げる	2
133067	ラベル ― 感電の危険	3
133205	ラベル ― 感電/やけどの危険	1
114249	ラベル ― 転倒の危険、タイヤ	4
114251	ラベル ― 爆発の危険	2
114252	ラベル ― 転倒の危険、リミットスイッチ	5
114473	ラベル ― 傾斜アラーム	1
219956	ラベル ― 作業台過負荷	1
219958	ラベル ― 転倒、挟まる危険	1
230984	地上操作パネル	1
1256420	ラベル ― 作業台への電力、208V/115V*	1
1256421	ラベル ― 作業台への電力、110V*	2
1256424	ラベル ― 転倒の危険、風速計	1
1256425	ラベル ― 危険、感電の危険	3
1258677	ラベル ― 作業台への電力、240V/50Hz*	2
1263540	ラベル ― 転倒の危険	1
1263542	ラベル ― コンパートメントへのアクセス	4
1263544	バイパスキースイッチ	1
1263545	指示 ― バイパスキースイッチ	1
1270328	ラベル ― 輪荷重、SX-125 XC*	4
1270329	ラベル ― 輪荷重、SX-105 XC*	4
1272242	ラベル ― 機械の登録/所有権の譲渡	1
1272508	ラベル ― 二重容量、SX-125 XC*	1
1274266	ラベル ― リレーパネル、Deutz 2.9 T4	1
1274267	ラベル ― リレーパネル、Perkins 854 T4	1
1274268	ラベル ― リレーパネル、Deutz TD2011/Perkins 1104	1
1275214	ラベル ― 輸送図	2
1275215	ラベル ― ブームサポート	1
1278374	ラベル ― 定格勾配	1
1278542	ラベル ― 接触アラーム重量	1
1278982	ラベル ― アクチュエータスイッチソケット	1
1279839	ラベル ― 収納手順	1
1280580	ラベル ― 二重容量、SX-105 XC*	1
1281174	ラベル ― 安全帯固定箇所、転倒阻止/転倒防止	8
1287517	ラベル ― 移行期間 Deutz 社製エンジン	1
1296907	警告 ― ラベル、DPF および EAT の障害、(ステージ V)*	1
1298096	ラベル ― 補助下降	1
1298467	ラベル ― マニュアルを読む	2
1301030	ラベル ― ディーゼル、ステージ V*	1
1301075	ラベル ― 未加工のエアホースを中央にする(ステージ V)*	1
1304217	警告 ― 爆発の危険	1
1305382	ラベル ― 識別、ステージ V	1
1311624	ラベル ― 109 dBa	1
1331883	作業台操作パネル	1
T114286	ラベル ― カバーの取り付け	8

■ 影の部分はステッカーが隠れていて見えないことを示しています (例:カバーの下など) 。

* これらのステッカーはモデル、オプションまたは構成の仕様を示します。

** これらのステッカーはシャーシ両側面に付いています。

点検


1281174
114252
28159
133205
*28159
*1301030
*1274266
*1274267
*1274268
133067
72086
82481
82487
*1298467
1263542
97815
1301075
T114286
1304217
*1270328
*1270329
114249
114251
114251
1275214
**1263542
1305382
114249
*1270328
*1270329
1278542
1278982
52475
65278
72086
27207
27205
27204
27206
20206
**72086
1331883
133067
219958
114473
1278374
219956
*28174
*28235
*1280580
*1272508
*1256421
*1258677
*44981
1256425
82487
1256425
*1256420
*1256421
*1258677
1281174
82487
72086
1298096
97757
1272242
1311624
1287517
114252
1275215
114252
230984
1296907
1263540
1263542
1279839
1263544
1263545
44981
*28174
*28235
*1256424
*82487
*1270328
*1270329
114249
1263542
1275214
82481
133067
114249
*1270328
*1270329
T114286

操作手順



操作を行う必須条件は、以下のとおりです。

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施してください。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 必ず操作前の点検を行う。

3 使用する前に必ず機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

原則

操作手順のセクションでは、機械操作の手順を機能ごとに説明しています。安全規則や操作説明書に記載されている全ての指示に従うことはオペレータの責任です。

作業員を工具や機材と一緒に高所作業場まで上げる目的以外で、機械を使用することは危険です。

機械の操作は、トレーニングを受け認定された担当者のみが許可されなければなりません。複数のオペレータが同じ勤務時間内で異なる時間帯に機械を使用する場合、すべてのオペレータが資格を有し、オペレータの安全および責任に関するマニュアルの安全規則と手順にすべて従わなければなりません。すなわち、オペレータが交替するたびに、次のオペレータが機械の操作前に、操作前点検、機能テスト、作業場点検を行う必要があります。

操作手順

エンジンの始動

1 地上操作で、キースイッチを目的の位置まで回します。

2 地上操作と作業台操作の両方の赤色非常停止ボタンが引かれ、オンの位置にあることを確認します。

Deutz モデル

1 エンジン始動ボタンを押します。グロープラグがオンの間は、エンジン始動ボタンはいつでも押すことができます。エンジンが始動しない、あるいは停止した場合、再始動遅延機能によって 3 秒間始動できなくなります。



Perkins モデル

1 エンジン始動ボタンを押します。



15 秒間のクランク後エンジンが始動しない場合、故障の原因を判別して修理してください。60 秒間待ってから、再度始動を試みてください。

-6°C 以下の寒い状況では、油圧システムの損傷を避けるため、操作の前に 5 分間エンジンを温めてください。

-18°C 以下の極寒の状況では、オプションの低温スタートキットを機械に搭載する必要があります。気温 -18°C 以下の環境でエンジンを始動する場合、ブースターバッテリーが必要な場合があります。

非常停止

地上もしくは作業台操作の赤色非常停止ボタンを押してオフにし、すべての機能を停止してエンジンを切ります。

赤色非常停止ボタンが押されている状態で作動する機能は修理する必要があります。

地上操作を選択して操作すると、地上操作が優先されるため、作業台の赤色非常停止ボタンは使用できません。

補助電源

主動力源（エンジン）が停止した場合、補助動力を使用してください。

1 キースイッチを回して地上もしくは作業台操作に切り替えます。

2 赤色非常停止ボタンを引いてオンの位置にします。

3 作業台から操作する場合は、ペダルスイッチを踏みます。

4 補助電源スイッチをオンにしたまま、必要な機能を作動させます。



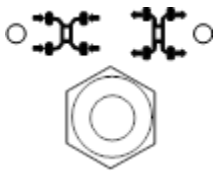
走行機能は、補助電源では作動しません。

操作手順

車軸の延長と収縮

1 キースイッチを回して作業台操作に切り替えます。

2 作業台操作で、ペダルスイッチを踏み、走行コントロールハンドルをいずれかの方向に動かし、車軸スイッチを適切な方向に動かします。



車軸が動いている間、車軸延長および収縮表示ランプが点滅します。車軸が完全に延長すると、車軸延長表示ランプが点灯します。車軸が完全に収縮すると、車軸収縮表示ランプが点灯します。

ブームが完全に下降し、収縮され、作業台が丸印側のホイールの間にある場合には、車軸は収縮のみが可能です。

地上からの操作

1 キースイッチを回して地上操作に切り替えます。

2 赤色非常停止ボタンを引いてオンの位置にします。

3 エンジンを始動させます。

作業台を位置につける

1 機能作動ボタンを押したままにします。



注:機能有効化スイッチ(ボタンまたはフットスイッチ)を有効化した後、事前に設定された時間内に機能制御が実行されない場合、機能有効化スイッチは自動的に無効化されます。この場合、オペレーターは機能有効化スイッチを解除して、再試行する必要があります。

2 操作パネルのマークに従って、適切な機能ボタンを押します。

機能速度選択ボタンを押すと、機能速度を選択できます。



カメの上の矢印が点灯すると、機械機能は低速で作動します。ウサギの上の矢印が点灯すると、機械機能は高速で作動します。

走行とステアリング機能は地上操作から操作できません。

操作手順

作業台からの操作

1 キースイッチを回して作業台操作に切り替えます。

2 地上操作と作業台操作の両方の赤色非常停止ボタンを引いてオンにします。

3 エンジンを始動させます。エンジンを始動するときは、ペダルスイッチを踏まないでください。

作業台を位置につける

1 ペダルスイッチを踏みます。

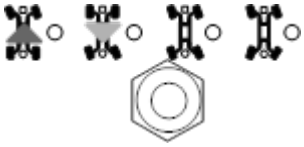
注:機能有効化スイッチ(ボタンまたはフットスイッチ)を有効化した後、事前に設定された時間内に機能制御が実行されない場合、機能有効化スイッチは自動的に無効化されます。この場合、オペレーターは機能有効化スイッチを解除して、再試行する必要があります。

2 操作パネルのマークに従って、適切な機能コントロールハンドルもしくはサムロッカースイッチまたはトグルスイッチをゆっくりと動かします。

操舵

1 ペダルスイッチを踏みます。

2 操舵モードスイッチを動かして操舵モードを選択します。現在の操舵モードの横にある表示ランプが点灯します。



3 走行コントロールハンドルを青色もしくは黄色の三角が示す方向にゆっくり動かします。
もしくは、走行コントロー ハンドルの先端にあるロッカースイッチを押します。

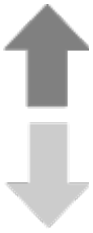


作業台操作および走行シャーシにある色別された矢印マークを見ながら、ホイールの曲がる方向を確認してください。

走行

1 ペダルスイッチを踏みます。

2 速度を上げるには、次の操作を行います。走行コントロール ハンドルを青色または黄色の矢印の方向へゆっくりと動かします。



速度を下げるには、次の操作を行います。走行コントロール ハンドルを中心の位置に向かってゆっくりと動かします。

停止するには、次の操作を行います。走行コントロール ハンドルを中心の位置へ戻すか、ペダルスイッチを解除します。

作業台操作と走行シャーシの色別された方向矢印で、機械の進む方向を確認してください。

ブームが上昇あるいは延長した状態での走行速度は制限されています。

操作手順

⚠ 傾斜面における走行

機械に対する上り傾斜、下り傾斜、および横傾斜の定格勾配を確認し、傾斜勾配を判断します。



最大定格勾配、下り傾斜に作業台がある場合（登坂能力）:
40% (22°)



最大定格勾配、上り斜面に作業台がある場合:
40% (22°)



最大定格横勾配:
25% (14°)

注記:定格勾配は、1 名の作業員が作業台にいる場合と車輪と地面との摩擦の状態により異なります。作業台への追加の重量は定格勾配を低減する場合があります。登坂能力という用語は、カウンターウェイトが上り坂にある構成の場合にのみ適用されます。

ブームが水平より低く、作業台が丸印側のホイールの間にあることを確認します。

走行速度選択スイッチを機械が傾斜面上にあることを示すシンボルの方向に動かします。

傾斜勾配の確認

デジタル傾斜計を使用するか、あるいは以下の手順で傾斜を測定します。

必要なものは以下のとおりです。

- 水準器
- 最低 1 m の長さの真っ直ぐな木片
- 巻尺

傾斜面の上に木片を置きます。

下り傾斜の一番下で、木片の上端に水準器を置いた後、木片が水平になるまでその端を持ち上げます。

木片を水平に保ちながら、木片の端の底部から地面までの距離を測ります。

巻尺で測った地面からの距離（高さ）を木片の長さ (水平距離) で割り、その数値に 100 を掛けます。

例:



木片 ＝ 3.6 m

水平距離 ＝ 3.6 m

高さ ＝ 0.3 m

0.3 m ÷ 3.6 m = 0.083 × 0.083 x 100 = 8.3% 勾配

上りもしくは下り傾斜や横傾斜が最大定格勾配を超える場合は、機械をウィンチで巻き揚げるか、もしくは傾斜のない場所に運ぶ必要があります。「輸送およびリフト」のセクションを参照してください。

操作手順

走行機能



表示ランプがオンになると、ブームが丸印側のタイヤを越えて移動し、走行機能が妨げられたことを意味します。

走行するには、走行機能スイッチを動かし、走行/操舵コントロールハンドルを中央位置からゆっくり動かします。

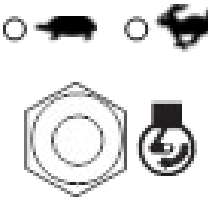
走行機能スイッチを動かしてから 2 秒以内に走行/操舵コントロールハンドルを動かさなかった場合には、走行機能は動作しません。走行機能スイッチを解除して、動かしてください。

走行コントロール ハンドルおよび操舵コントロールハンドルの方向とは反対の方向に機械が動く場合があるので、注意してください。

必ず作業台操作と走行シャーシの色分け矢印で、機械の進む方向を確認してください。

走行機能ランプが点灯している場合には、車軸は収縮できません。

エンジンアイドリング選択（rpm）



エンジンアイドリング選択ボタンを押して、エンジンアイドリング速度（rpm）を選択します。現在の設定の横にある表示ランプが点灯します。

- カメのシンボル：低速アイドリング
- ウサギのシンボル：高速アイドリング

エンジンランプのチェック



ランプが点灯し、エンジンが停止した場合、故障の貼り紙をつけて作業を中止してください。

ランプが点灯して、エンジンがまだ作動している場合、24 時間以内にサービス担当者に連絡してください。

操作手順

動作包絡面表示ランプ

動作包絡面表示ランプは、機能が妨げられた、もしくはオペレータによる処置が必要であることをオペレータに通知するために点灯します。

ブーム上昇/収縮表示ランプが点滅している場合表示ランプが消灯するまでブームを上昇/収縮します。

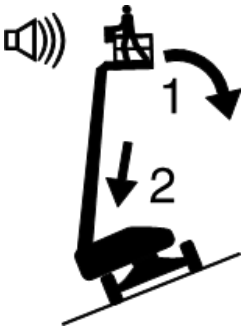


ブーム下降表示ランプが点滅している場合表示ランプが消灯するまでブームを下げます。



機械の非水平表示ランプが点滅している場合このランプが点滅している間、傾斜アラームが鳴ります。機械を安定した平坦な地面に移動します。

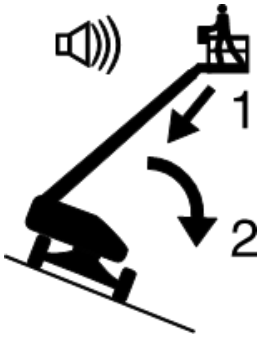




作業台が上り傾斜にあるときに傾斜アラームが鳴った場合には、以下の操作を行います。

1 ブームを下げます。

2 ブームを収縮します。



作業台が下り傾斜にあるときに傾斜アラームが鳴った場合には、以下の操作を行います。

1 ブームを収縮します。

2 ブームを下げます。

作業台の非水平表示ランプが点滅している場合このランプが点滅している間、傾斜アラームが鳴ります。作業台水平トグルスイッチは、作業台を水平にする方向にのみ動作します。表示ランプが消灯するまで、作業台を水平にします。



操作手順

水平でない作業台（P22 コード）

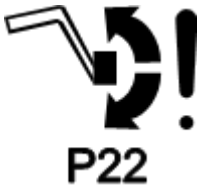
地上操作パネルに P22 と表示され、作業台水平制御が機能しない場合、バイパスキーの位置を使用して作業台を水平にします。

以下の操作を行います。

1 エンジンを切ります。

2 メインキースイッチを回して地上操作に切り替えます。メインキースイッチからキーを取り外し、そのキーをバイパス/復元キースイッチに差し込みます。

3 バイパス/復元キースイッチを回してバイパス位置にします。



4 補助電源を使用して、作業台水平ボタンを操作して作業台を水平にします。

5 バイパス/復元キースイッチを回して起動位置にします。

6 バイパス/復元キースイッチからキーを取り外し、そのキーをメインキースイッチに差し込みます。

7 赤色の非常停止ボタンを押してから、引き出してください。

8 P22 がまだ表示されている場合は、資格を持つサービス技術者が故障を修正するまで、故障中の貼り紙をつけて機械の使用を中止してください。

操作手順

水平でない作業台(作業台レベル > 15 度 エラー)

地上操作パネルに PLATFORM LEVEL > 15 DEGREES FAULT (「作業台レベル > 15 度 故障」) が表示され、作業台水平制御が機能しない場合、トレーニングを受け認定された担当者、あるいは認定を受けたサービス担当者が機械を復元させる必要があります。

過負荷の復元 (搭載されている場合)

地上操作の液晶画面に OVERLOAD RECOVERY(過負荷の復元)と表示された場合は、作業台が過負荷状態にある間、緊急下降システムが作動します。この表示メッセージをリセットする手順は、該当する Genie サービスマニュアルを参照してください。

作業台過負荷表示ランプ



作業台に負荷がかかりすぎている場合にランプが点滅します。エンジンが停止すると、すべての機能は作動しません。

ランプが消えるまで、作業台にかかっている重量を減らしてください。それからエンジンを再始動します。

発電機

発電機を作動させるには、発電機トグルスイッチを動かします。

注記:発電機の始動中にペダルスイッチが作動している場合は、発電機は作動しません。

発電機の始動中、発電機表示ランプが点滅します。発電機の始動が完了すると、発電機表示ランプが点灯し続け、エンジン回転数が高速(ウサギマークのモード)になります。

電動工具のプラグを作業台用 GFCI コンセントに差し込みます。ターンテーブルシャーシに配置されている発電機の電源ボックスには GFCI(漏電遮断器)が内蔵されています。

発電機をオフにするには、発電機トグルスイッチを動かします。発電機をシャットダウンしている間、発電機表示ランプが点滅します。発電機のシャットダウン手順が完了すると、発電機表示ランプが消え、エンジン回転数が低回転(カメマークのモード)になります。

操作手順

静止再生

LCD 画面に「要再生」と表示され、再生ランプが点滅している場合、DPF（ディーゼル・パティキュレート・フィルター）の静止再生が必要です。

⚠ DPF 静止生成プロセス中は、すべてのブーム機能が無効になります。

⚠ エンジンの排気ガスやマフラーに近づかないでください。

⚠ 機械から離れないでください。

⚠ DPF 静止再生は、エンジンからの要求がない場合、またはエンジンに異常がある場合には作動しません。

⚠ 静止再生要求を無視した場合、DPF 内のススが極端なレベルに達する可能性があります。フィルターが恒久的に損傷するため、資格のあるサービス技術者が交換する必要があります。

⚠ 緊急時には、DPF 静止再生を 2 つの方法で中断することができます:

- エンジンはキースイッチで停止させます。
- ESTOP 停止ボタンを押します。

この場合、静止再生を再開する必要があります。

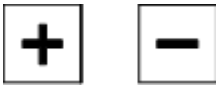
⚠ DPF 静止再生は、エンジンが 2 分以上回転し、クーラント温度が 35°C に達するまで開始されません。

再生を開始するには、以下の手順に従ってください。

1 エンジン側面のカバーを閉じます。

2 安全な停車場所、つまり堅固で平らな場所、障害物や交通の妨げにならない場所、引火性物質や爆発性ガスのない場所を選んでください。

3 表示されている 2 つの LCD 画面コントロールボタンを同時に押します。



4 DEUTZ 2.2 静止再生が表示されるまで LCD 画面の操作ボタンを押します。



5 表示されている LCD 画面のコントロールボタンを押します。



6 LCD 画面に「排気温度上昇警告、『確定』ボタンを押して下さい。」というメッセージが表示されます。

7 表示されている LCD 画面の操作ボタンを押します。



操作手順

8 LCD 画面に「注意」というメッセージが表示されます：全ての機能がロックされます。再生には約 1 時間かかります。「確定」ボタンを押して下さい。

9 表示されている LCD 画面の操作ボタンを押します。



10 エンジンが始動していない場合、LCD 画面に「エンジンを始 動してから『確定』ボタンを押して下さい。」というメッセージが表示されます。

11 エンジンを始動させ、LCD 画面に表示されている操作ボタンを押します。



12 LCD 画面に「要再生」というメッセージが表示されます。この時、システムは必要に応じてエンジンを暖機し、処理を進めます。

13 再生プロセスが正常に開始されると、LCD 画面に「再生残り時間」というメッセージが表示されます。

14 再生が完了すると、LCD 画面に「再生成功」というメッセージが表示されます。

15 LCD 画面に「再生中止」と表示されている場合は、何らかの原因で再生が完了していません。Genie サービス窓口へお問い合わせください。

プラットフォーム容量の選択

作業範囲は作業台の負荷重量によって自動的に管理されます。

制限されない作業範囲:
作業台負荷が 300 kg 以下の場合、作業範囲が制限されていないことを示すランプが点灯します。



制限される作業範囲:
作業台負荷が 301 ～ 454 kg の場合、作業範囲が制限されることを示すランプが点灯し、ジブ機能も制限されます。



操作手順

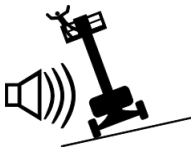
傾斜センサー動作設定

SX-105 XC			
プラットフォーム荷重：**660 lbs/300 kg**			
シャーシ角度（前方から後方）	シャーシ角度（片側からもう一方側）	最大高さ	最大到達
0°	4.5°	105 ft 32.00 m	80 ft 24.38 m
2.5°	4.5°	106 ft 32.31 m	80 ft 24.38 m
5°	4.5°	107 ft 32.61 m	80 ft 24.38 m
-2.5°	4.5°	104 ft 31.69 m	80 ft 24.38 m
-5°	4.5°	103 ft 31.39 m	80 ft 24.38 m
プラットフォーム荷重：**1,000 lbs/454 kg**			
シャーシ角度（前方から後方）	シャーシ角度（片側からもう一方側）	最大高さ	最大到達
0°	4.5°	105 ft 32.00 m	71 ft 21.64 m
2.5°	4.5°	106 ft 32.31 m	71 ft 21.64 m
5°	4.5°	107 ft 32.61 m	71 ft 21.64 m
-2.5°	4.5°	104 ft 31.69 m	70 ft 21.34 m
-5°	4.5°	103 ft 31.39 m	70 ft 21.34 m

SX-125 XC			
プラットフォーム荷重：**660 lbs/300 kg**			
シャーシ角度（前方から後方）	シャーシ角度（片側からもう一方側）	最大高さ	最大到達
0°	4.5°	125 ft 38.10 m	80 ft 24.38 m
2.5°	4.5°	126 ft 38.40 m	80 ft 24.38 m
5°	4.5°	128 ft 39.01 m	80 ft 24.38 m
-2.5°	4.5°	124 ft 37.79 m	80 ft 24.38 m
-5°	4.5°	122 ft 37.19 m	80 ft 24.38 m
プラットフォーム荷重：**1,000 lbs/454 kg**			
シャーシ角度（前方から後方）	シャーシ角度（片側からもう一方側）	最大高さ	最大到達
0°	4.5°	125 ft 38.10 m	71 ft 21.64 m
2.5°	4.5°	126 ft 38.40 m	71 ft 21.64 m
5°	4.5°	128 ft 39.01 m	71 ft 21.64 m
-2.5°	4.5°	124 ft 37.79 m	70 ft 21.34 m
-5°	4.5°	122 ft 37.19 m	70 ft 21.34 m

操作手順

傾斜表示ランプが点灯し、傾斜アラームが鳴る場合、次の機能が影響を受けます。走行機能が無効になります。



ブーム下降手順（操作指示を参照）に従って、走行機能を復元してください。

傾斜面で機械を収納し、傾斜アラームが鳴る場合、次の機能が影響を受けます。リフト機能が無効になります。



リフト機能を復元するには、平らな地面に機械を移動してください。

LCD 画面（搭載されている場合）

LCD 画面には、時間計、電圧、油圧および冷却水温度が表示されます。また、故障コードとその他の点検情報も表示されます。

Perkins エンジン

Perkins 854F-34T ディーゼルエンジンを搭載している機械には再生モードがあるため、必要に応じて自動的に起動します。

再生モードが起動しているときには、LCD 画面には REGEN FORCED（強制再生）と WARNING HIGH EXHAUST SYSTEM TEMP（排気システム高温度の警告） が表示されます。作業は必要ありません。

操作手順

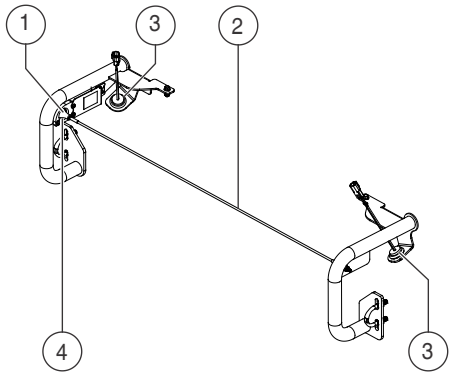
接触アラーム（搭載されている場合）

接触アラームはアラームと点滅した警告ランプで、オペレータが作業台操作パネルに接触し、ブームの動作を妨害したことを地上作業員に知らせることを目的としています。

接触アラームケーブルが作動すると、作業台でのリフトおよび走行機能は無効になります。音声と視覚を用いた警告は、他の作業員にサポートが必要であることを知らせます。この通知の動作はシステムがリセットされるまで続きます。

1 スイッチソケットからアクチュエータが解除され、接触アラームケーブルが作動します。

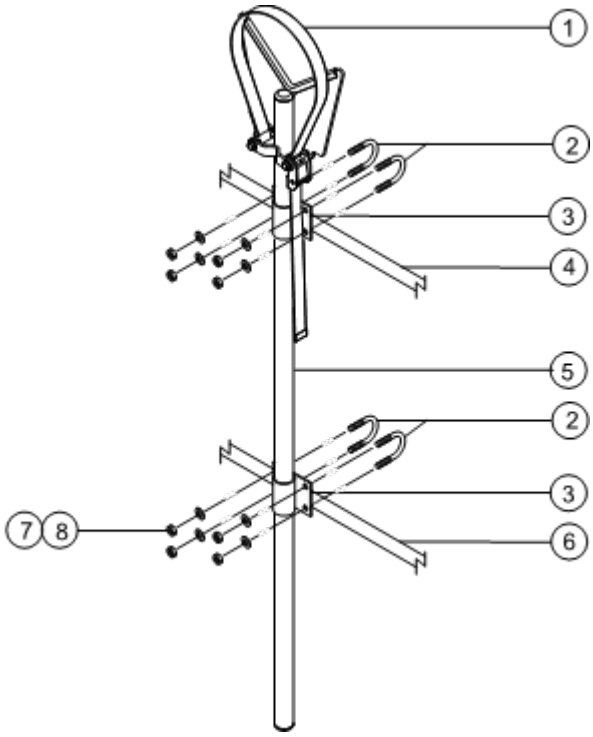
2 アクチュエータをスイッチソケットに挿入して、ランプの点灯とアラームを止めます。



1 アクチュエータ
2 接触アラームケーブル
3 点滅アラーム
4 スイッチソケット

パイプクレードルの手順

パイプクレードルのアッセンブリは、作業台の両側のガードレールにそれぞれ U ボルトで取り付けられた 2 つのパイプクレードルから構成されます。



1 ストラップ
2 U ボルト
3 パイプクレードル取り付け具
4 上部作業台手摺り
5 パイプクレードル溶接部
6 中央部作業台手摺り
7 平ウォッシャー
8 ナイロック ナット

操作手順

必ず以下に従うこと。

☑ パイプクレードルを作業台の内側に取り付けてください。

☑ パイプクレードルが、作業台コントロールあるいは作業台の出入口の妨げにならないようにしてください。

☑ パイプクレードルチューブの底が、作業台床に載っている状態にしてください。

☑ パイプクレードルを取り付ける前に、作業台が水平状態であることを確認します。

パイプクレードルの取り付け

1 パイプクレードルを作業台の両側に取り付けます。左の手順を参照してください。パイプクレードルチューブの底が、作業台床に載っている状態にしてください。

2 2 つの U ボルトを、作業台レールの外側からパイプクレードル取り付け具を通して取り付けます。

3 それぞれの U ボルトを 2 個のウォッシャーと 2 個のナットで固定します。

パイプクレードルの使い方

1 パイプクレードルの組み立ておよび取り付け手順に適切に従い、パイプクレードルが作業台の手摺りにしっかりと固定されていることを確認します。

2 積荷を両方のパイプクレードルに載るように置きます。積荷の奥行きが作業台の奥行きと平行になるようにします。

3 積荷をパイプクレードルの中心に置きます。

4 積荷をそれぞれのパイプクレードルに固定します。ナイロンストラップを積荷の上にかけます。バックルを押してストラップを通します。ストラップを締めます。

5 積荷をゆっくり押したり引いたりして、パイプクレードルと積荷が固定されていることを確認します。

6 機械が動いている間、積荷を固定したままにしてください。

⚠ 転倒の危険。パイプクレードルのアッセンブリとパイプクレードル内の積荷の重量は、機械の定格作業台積載荷重量に含まれるため、作業台に載せることのできる積荷の合計荷重量は小さくなります。

⚠ 転倒の危険。パイプクレードルのアッセンブリとパイプクレードルの積荷の重量によって、作業台の最大作業員数が制限される可能性があります。

パイプクレードルの最大積載重量	
すべてのモデル	90.7 kg
パイプクレードルアッセンブリの重量	9.5 kg

操作手順

パネルクレードル

パネルクレードル・アセンブリ — 溶接式

1 溶接式パネルクレードルは組み立て済みです。

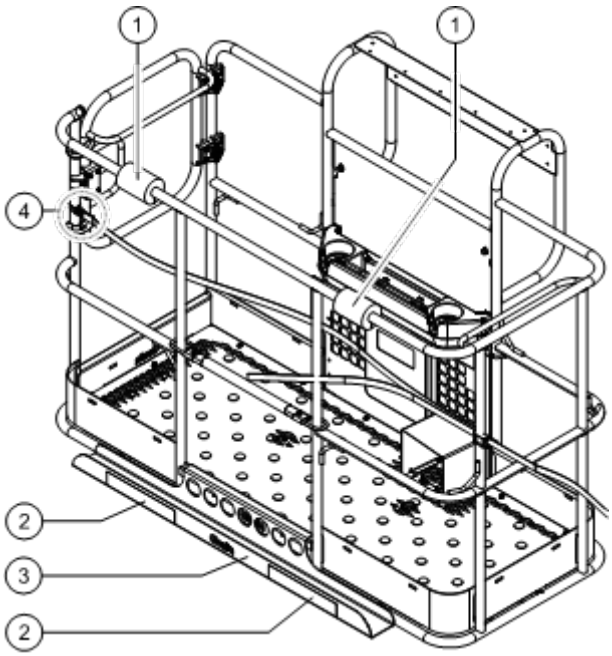
パネルクレードルの取り付け — 溶接式

注記：固く平坦な面に配置し、ブームを収納した状態でこの手順を行ってください。

注記： トレイにはキットステッカーがすでに貼り付けられているはずです。

1 作業台前部のトーボードが快適な作業高さになるように調整してください。

2 パネルクレードルトレイをトーボードの上に置き、トレイの背面のスロットがトーボードの対応するスロットに揃うように、トレイがトーボードの上部と同じ高さになるまで押し下げます。



1 フォームパッド x 2
2 ステッカー x 2
3 パネルクレードルトレイ
4 クランプ

3 付属の留め具を使って、トレイを作業台に固定します。ファスナーを締めます。

操作手順

パッドの取り付け

作業台の手摺りにパッド 2 つを取り付けます。パネルが作業台の手摺りに接触しないよう、パッドの位置を決めます。

ストラップの取り付け

1 クランプを開き、作業台手摺りの垂直チューブを囲むように取り付けます。

2 クランプの片側からウォッシャーとボルトを挿入します。

3 ストラップ・アセンブリのエンドプレートをボルトに取り付けます。

4 クランプのもう一方の側にボルトを挿入します。

ウォッシャーとナットで固定します。締めすぎないよう注意してください。

注記: ストラップ・アセンブリは、クランプの間に固定する必要があります。

注記: ストラップ・アセンブリは、作業台レールを自由に上下にスライドできる必要があります。

パネルクレードルの使い方

注記:ボルト式は 2 つのクレードル、溶接式は 1 つのクレードルを備えています。

操作手順:

1 パネルクレードルとストラップ・アセンブリを作業台に固定します。

2 積荷を作業台の中心に置きます。

3 ストラップを使って積荷を作業台に固定します。

4 ストラップを締めます。

操作手順

使用後の注意

1 固い水平な地面で、障害物や人や車の往来のない、安全な駐車場所を選んでください。

2 ブームを収縮し、収納位置まで下げます。

3 ブームが丸印側のタイヤの間に位置するまで、ターンテーブルを旋回させます。

4 キースイッチをオフの位置に回し、関係者以外による使用を避けるためキーを取り外します。

機械の収納

長期保管のための準備と収納を適切に行うことで、機械を再び使用することが容易になります。

1 基本的な機械の収納方法については、「使用後の注意」のセクションを参照してください。

2 この機会は、乾燥した風通しのよい場所に保管してください。機械がきれいで、乾燥していることを確認してください。

3 動作前点検を完全に実施します。

エンジン搭載モデル：燃料タンクを満タンにします。

4 該当するサービスマニュアルの「定期保守点検」のセクションを参照し、各潤滑手順を完了させてください。

5 バッテリーを取り外して保管します。

6 エンジン搭載モデル：その他の長期保管の手順については，OEM エンジンのマニュアルを参照してください。必要に応じて、エンジンを始動して 10 分間作動させます。

輸送および持ち上げの手順

必ず以下に従うこと。

☑ Genie は、以下の装置の輸送および設置に関する情報を 1 つの提案として提示します。操縦者は、米国運輸省の規定、地域のその他の規定および自社の方針に従って、機械を正しく固定し、正しいトレーラーを選択することに関して、すべての責任を負っています。

☑ Genie の顧客が任意のリフトまたは Genie 製品をコンテナに収める必要がある場合には、建設用機器およびリフトを国際輸送用に準備、積載、固定する作業の専門知識を持つ、認定された運送会社に依頼してください。

☑ 機械のトラックからの積み下ろしは、認定を受けた可動式上昇作業台の作業員のみが行ってください。

☑ 輸送車両は水平な地面に駐車してください。

☑ 機械を載せる際は、輸送車両を動かないように固定してください。

☑ 車両の積載荷重量、積載面、チェーンやストラップが、機械の重量に十分に耐えうるものであることを確認してください。Genie リフトはそのサイズと比べるとかなりの重量があります。機械の重量についてはシリアルラベルをご覧ください。

☑ 輸送の前に、ターンテーブルがターンテーブル旋回ロックで固定されていることを確認してください。操作を始める前に、ターンテーブルのロックが解除されていることを確認してください。

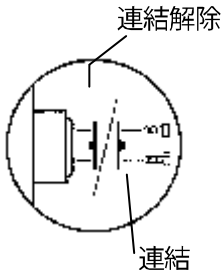
☑ 機械の定格勾配を超える上り傾斜、下り傾斜、および横傾斜では、機械を走行しないでください。操作手順の「傾斜面における走行」のセクションを参照してください。

☑ 輸送車両の荷台の傾斜が最大定格勾配を越える場合、機械の積み下ろしの際には「ブレーキ解除操作」の指示どおりにウィンチを使用する必要があります。

ウィンチ用のフリーホイール設定

機械が動かないよう輪止めをかましてください。

4 輪すべての走行ハブ取外しキャップを反転させて、ホイールブレーキを解除します。



シャーシの荷締め箇所にウィンチラインがしっかりと固定され、軌道に障害物が無いことを確認します。

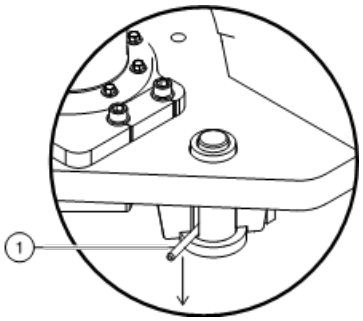
再びブレーキをかけるには逆の手順を行ってください。

注記：ポンプのフリーホイール弁は常に閉じていなければいけません。

輸送および持ち上げの手順

輸送用トラックあるいはトレーラーへの固定

機械を輸送するときは、ターンテーブル旋回ロックピンを必ず使用してください。



1　ターンテーブル旋回ロックピン

輸送の前にキースイッチをオフの位置に回し、キーを取り外してください。

緩んでいたり、固定されていない箇所がないか、機械全体を点検します。

作業台の固定

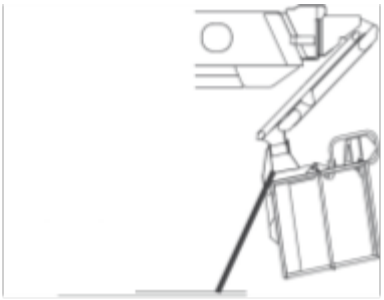
ジブブームを収納位置まで下ろします。

ジブと作業台がブームの下に入り込むまで、作業台をできる限り下げます。

作業台サポートにある回転装置の横のプレートの間にストラップを通します。

ストラップをトラックの荷台のそれぞれの端に固定します。

作業台はトラックの後ろから一部出た状態で釣り下がっています。

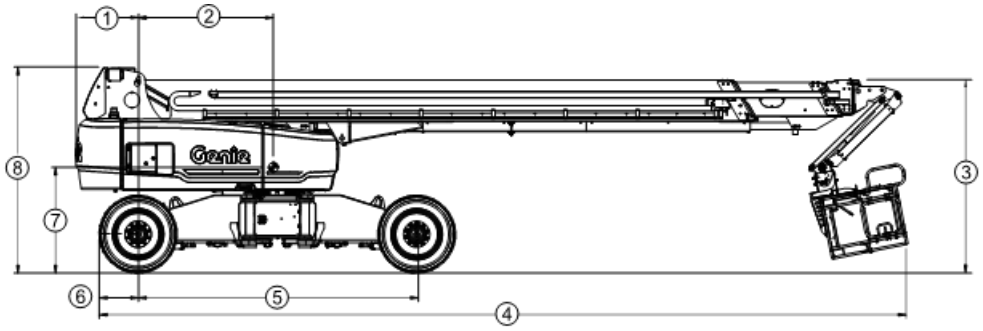


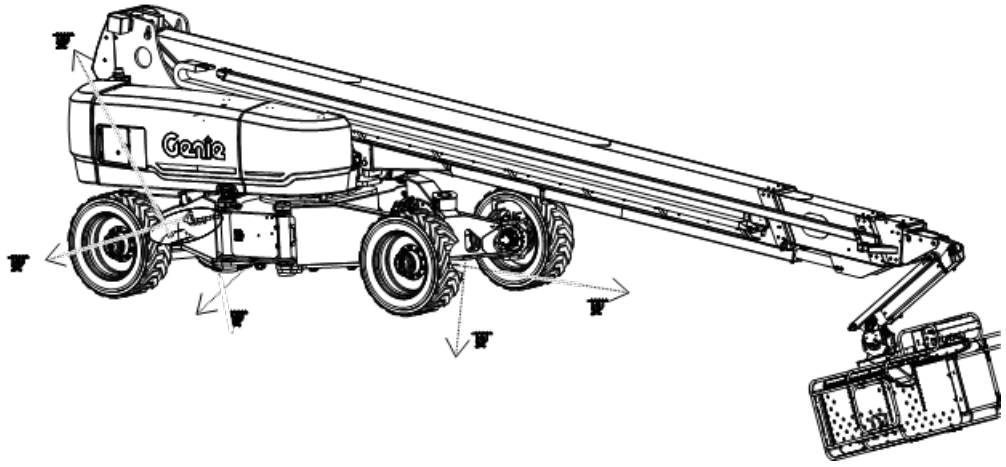
輸送および持ち上げの手順

SX-105 XC シャーシの固定

重心の測定

1	3 ft/0.92 m	5	13.5 ft/4.12 m
2	9.6 ft/2.94 m	6	1.8 ft/0.55 m
3	9.3 ft/2.83 m	7	4.8 ft/1.48 m
4	39 ft/11.88 m	8	9.9 ft/3.01 m



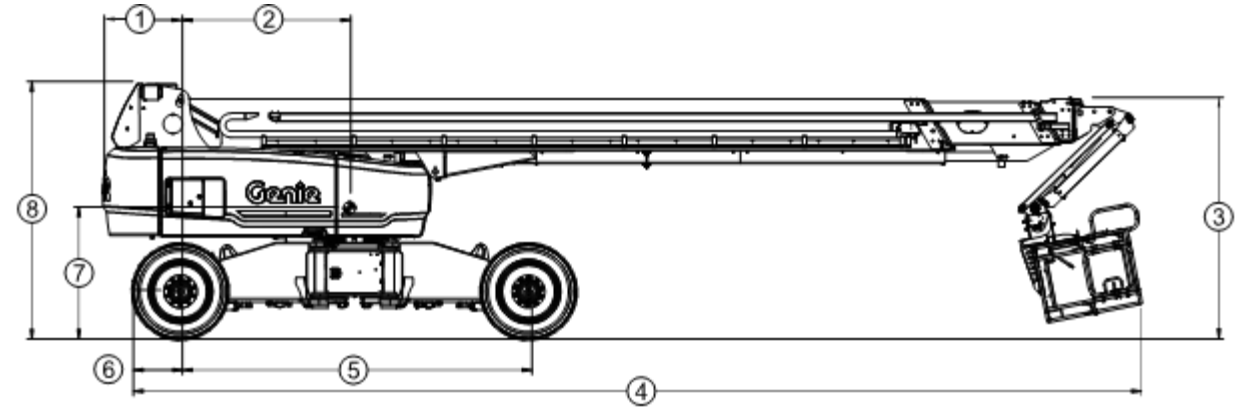


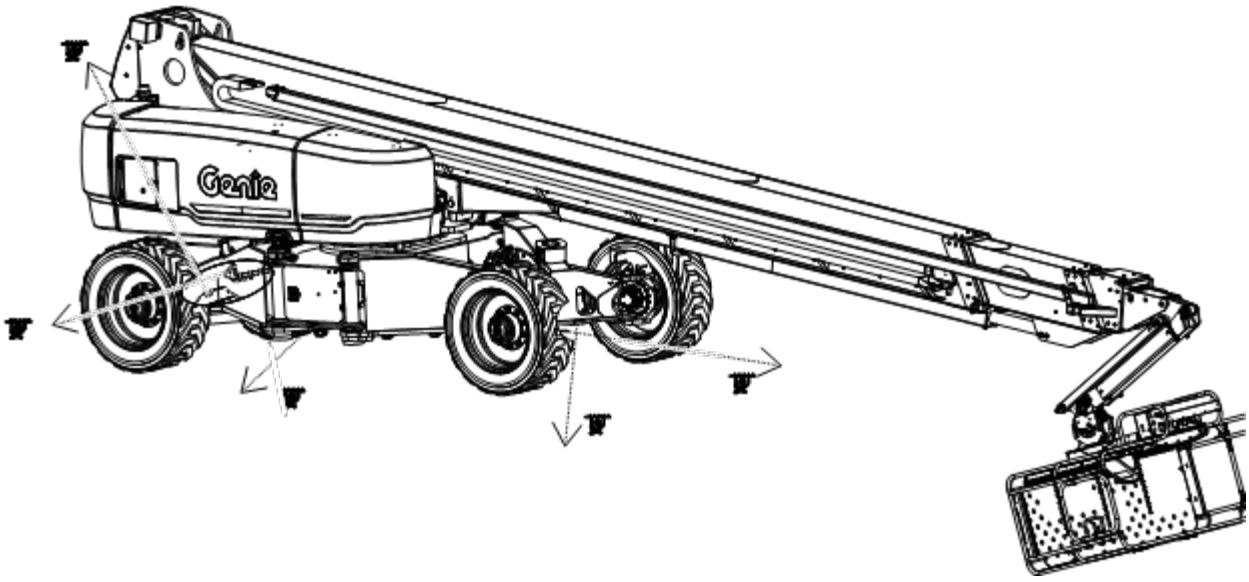
輸送および持ち上げの手順

SX-125 XC シャーシの固定

重心の測定

1	3 ft/0.92 m	5	13.5 ft/4.12 m
2	6.5 ft/1.98 m	6	1.9 ft/0.58 m
3	8.8 ft/2.68 m	7	5.1 ft/1.56 m
4	39 ft/11.88 m	8	9.9 ft/3.03 m





輸送および持ち上げの手順

必ず以下に従うこと。

- ☑ 機械の組み立ては、必ず認定されている整備工が行ってください。
- ☑ 承認されたクレーン作業員のみが、適切なクレーン規制のみに従い、機械の持ち上げを行わなければなりません。
- ☑ クレーンの積載荷重量、積載面、ストラップやロープが、機械の重量に十分に耐えうることを確認してください。機械の重量についてはシリアルラベルをご覧ください。

持ち上げの手順（オプション1）

車軸を完全に延長します。ブームを完全に下げて収縮します。ジブを完全に下げます。

機械の緩んでいる箇所はすべて取り外してください。

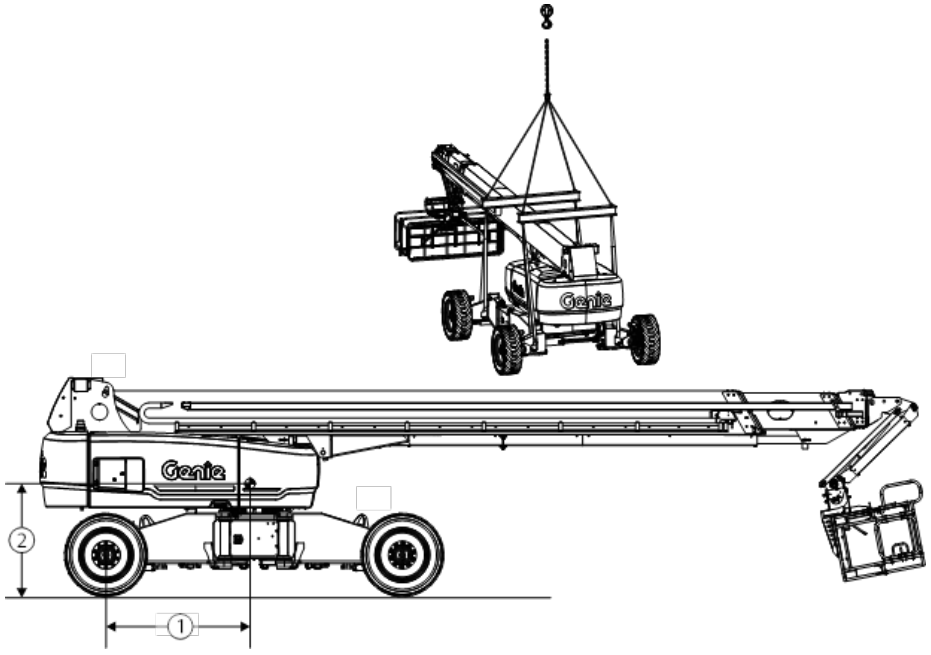
このページの表と図を参考にして、機械の重心を確認してください。

機械の指定の吊り上げ点にのみ装具を取り付けます。

吊り上げ点は走行シャーシに 4 カ所、各車軸に 1 カ所、スイングシャシーのライザー・プレートに 2 カ所あります。

機械が損傷しないよう、また、機械の水平状態を保てるよう、装具を調節してください。

重心	X 軸	Y 軸
SX-105 XC	116 in 2.9 m	58 in 1.5 m
SX-125 XC	131 in 3.3 m	62 in 1.6 m



輸送および持ち上げの手順

持ち上げの手順（オプション2）

車軸を完全に延長します。ブームを完全に下げて収縮します。ジブを完全に下げます。

機械の緩んでいる箇所はすべて取り外してください。

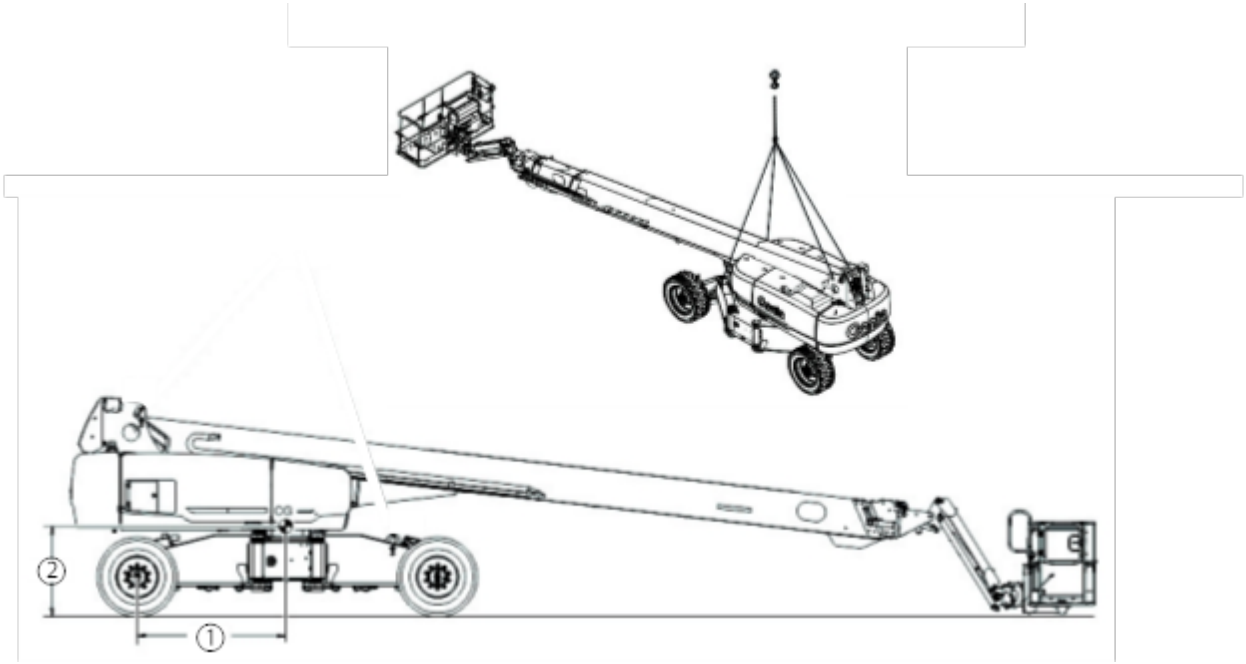
このページの表と図を参考にして、機械の重心を確認してください。

機械の指定の吊り上げ点にのみ装具を取り付けます。

吊り上げ点は走行シャーシに 4 カ所、各車軸に 1 カ所、スイングシャシーのライザー・プレートに 2 カ所あります。

機械が損傷しないよう、また、機械の水平状態を保てるよう、装具を調節してください。

重心	X 軸 (1)	Y 軸 (2)
SX-105 XC	79 in 2.0 m	47 in 1.2 m
SX-125 XC	83 in 2.1 m	51 in 1.3 m



メンテナンス



必ず以下に従うこと。

☑ オペレータは、本説明書に記載してある規定保守項目のみを行います。

☑ 定期保守点検は、認定を受けたサービス担当者が製品仕様と責務マニュアルに記載されている要項に基づいて行ってください。

☑ 法規に従って、適切に廃棄してください。

☑ Genie 承認の交換部品のみを使用してください。

メンテナンス記号の説明

以下の記号は、指示の目的をわかりやすくするために使用されています。メンテナンス手順の最初に記載されている記号は、次のような意味を表しています。



この手順を行うために、工具が必要です。



この手順を行うために、新たな部品が必要です。



この手順を行う場合には、エンジンが冷えた状態になっていなければなりません。

エンジンオイル量の点検



エンジンを高性能に保ち、耐用年数を長く保つために、エンジンオイルの量を適切にしておくことはきわめて重要です。オイル量が不適切な状態で機械を操作すると、エンジンの部品が損傷するおそれがあります。

注記:オイル量のチェックはエンジンを止めた状態で行ってください。

1 オイル計量棒をチェックします。必要に応じてオイルを補充してください。

Perkins 1104D-44T エンジン	
オイルタイプ	15W-40
オイルタイプ ー 低温での状況	10W-30
Deutz TD2011 L04i エンジン	
オイルタイプ	15W-40
オイルタイプ ー 低温での状況	5W-30
Perkins 854F-34T エンジン	
オイルタイプ	15W-40
オイルタイプ ー 低温での状況	5W-30
Deutz TD2.9L エンジン	
オイルタイプ	15W-40
オイルタイプ ー 低温での状況	5W-30
Deutz TCD 2.2L Stage V エンジン	
オイルタイプ	15W-40
オイルタイプ ー 低温での状況	5W-30
Deutz BF4L2011 エンジン	
オイルタイプ	15W-40
オイルタイプ ー 低温での状況	5W-30

ディーゼル燃料要件

エンジンの性能は、使用する燃料の品質によって影響を受けます。高品質の燃料を使用すると、エンジンの寿命が長くなり、排出ガスの放出レベルが許容範囲内になるという利点があります。

各エンジンに対応する最低ディーゼル燃料要件は以下に一覧にしています。

Perkins 1104D-44T エンジン	
燃料タイプ	低硫黄燃料（LSD）
Perkins 854F-34T エンジン	
燃料タイプ	超低硫黄燃料（ULSD）
Deutz TD2011 L04i エンジン	
燃料タイプ	低硫黄燃料（LSD）
Deutz TD2.9L エンジン	
燃料タイプ	超低硫黄燃料（ULSD）
Deutz TCD 2.2L Stage V エンジン	
燃料タイプ	超低硫黄燃料（ULSD）
Deutz BF4L2011 エンジン	
燃料タイプ	低硫黄燃料（LSD）

作動油量の点検

作動油量を適切なレベルにしておくことは、機械操作にとって非常に重要です。作動油量が適切でない場合、油圧部品が損傷することがあります。点検担当者は、毎日チェックすることにより、作動油量の変化に気付き、油圧システムでの問題を早期に発見することができます。

1 ブームが収納位置にあることを確認します。

2 油圧タンク側面にある表示計を目視点検します。

⊙ 結果：作動油量は表示計の上から 5 センチ内にしなければいけません。

3 必要に応じてオイルを補充してください。このときに入れすぎないようにしてください。

作動油の仕様	
作動油タイプ	Chevron Rando HD 相当物

メンテナンス

エンジン冷却液量の点検 ー 液冷モデル



エンジン冷却液の量を適切なレベルにしておくことはエンジンを長持ちさせるのに非常に重要です。冷却液の量が不適切な場合、エンジンの冷却能力に影響し、エンジンの部品が損傷するおそれがあります。点検担当者は冷却液の量を毎日チェックすることにより、冷却液の量の変化で、冷却システムでの問題を早期に見つけることができます。

1 冷却液量を確認します。必要に応じて液を足してください。

⊙ 結果（Deutz TD2.9L エンジン）：液の量は脱ガスタンクの表示計で見える必要があります。

⊙ 結果（その他のすべてのエンジンモデル）液の量は、NORMAL（標準）マークを指している必要があります。

⚠ 人体への傷害の危険ラジエーター内および脱ガスタンク内の液体には圧力がかかり、非常に熱くなっています。キャップをはずし、液体を追加するときは注意してください。

バッテリーの点検



バッテリーを適切な状態に保つことは、機械の性能を保ち、安全に操作するために重要です。不適切な液量、あるいはケーブルや接続の損傷は、部品の故障につながり、危険な状態を招くおそれがあります。

⚠ 感電の危険。熱くなっている回路や通電している回路に触れると、重傷を負ったり死に至ることがあります。指輪、時計などの装身具をすべて外してください。

⚠ 人体への傷害の危険。バッテリーには酸が入っています。バッテリーの酸をこぼしたり酸に触れたりしないようにしてください。バッテリー液がこぼれた場合は重曹と水を使って中和してください。

1 保護服と保護メガネを着用してください。

2 バッテリーケーブルがしっかりと接続され、腐食していないことを確認します。

3 バッテリー固定ブラケットが適切な位置にしっかりと取り付けられているか確認します。

注記：端子プロテクターや腐食防止シーリング剤を使用することによって、バッテリー端子やケーブルの腐食を防止することができます。

メンテナンス

定期保守点検

四半期ごと、1 年ごと、2 年ごとに行われる保守点検は、本機械の保守トレーニングを受け認定されている担当者が本機械のサービスマニュアルの手順に従って行わなければなりません。

3 ヶ月以上使用されていない機械は、再び使用する前に必ず四半期点検を行う必要があります。

機械の耐用年数を終えた際には、廃棄や廃車に関する地域や政府の規制をすべて遵守してください。詳細については、該当する Genie サービスマニュアルを参照してください。

仕様

モデル	SX-105 XC
高さ、操作時最大	34.00 m
高さ、作業台最大	32.00 m
高さ、収納時最大	3.00 m
水平最大到達距離	24.38 m
地下への到達距離	2.46 m
幅、車軸収納時	2.51 m
幅、車軸延長時	3.97 m
長さ、作業台収納時	14.15 m
奥行き、輸送時の収納状態（輸送用ジブ収納状態）	12.42 m
作業台最大積載重量、制限されない動作範囲	300 kg
作業台最大積載荷重量、制限された動作範囲	454 kg
最大風速	12.5 m/s
ホイールベース、車軸延長時	4.11 m
ホイールベース、車軸収縮時	4.11 m
最低地上高	35.6 cm
旋回半径、車軸延長時	
内側	3.05 m
外側	6.48 m
旋回半径、車軸収納時	
内側	8.15 m
外側	9.78 m
ターンテーブル回転角度(度）	360° 連続
ターンテーブルによる後方車体の揺れ、車軸延長時	0.99 m
ターンテーブルによる後方車体の揺れ、車軸収納時	0.38 m
操作パネル	12 V DC 比例
作業台寸法、1.8 m（奥行き x 幅)	183 x 76 cm
作業台寸法、2.4 m（奥行き x 幅)	244 x 91 cm
作業台水平維持	自動水平維持
作業台回転角度	160°
垂直方向のジブ旋回	135°
作業台 AC コンセント	標準
燃料タンク容量	151 リットル
油圧、最大（ブーム機能）	203 バール
油圧、最大（補助電源ユニット）	221 バール

ハンド/アームシステムが対象となる総振動値は 2.5 m/秒^2 を超過しません。

本体全体が対象となる補正加速度の最高二乗平均平方根値は 0.5 m/秒^2 を超過しません。

システム電圧	12 V
タイヤ サイズ	IN385/65D 22.5
重量	18,605 kg

(機械の重量は、オプション構成により異なります。機械の重量についてはシリアルラベルをご覧ください。)

周囲操作温度	-20°F～120°F -29°C～49°C

機械による騒音	
地上作業場での音圧レベル	84 dBA
作業台での音圧レベル	72 dBA
保証された音響レベル	109 dBA

最大定格勾配、収納状態、4WD		
カウンターウェイト上がり傾斜	40%	22°
カウンターウェイト下がり傾斜	40%	22°
横勾配	25%	14°

注記：定格勾配は、1 名の作業員が作業台にいる場合と車輪と地面との摩擦の状態により異なります。作業台への追加の重量は定格勾配を低減する場合があります。

最大許容外圧力	「傾斜センサー動作設定」の項参照

走行速度	
走行速度、収納時	4.8 km/h 12 m/8.8 秒
走行速度、上昇または伸長時	1.09 km/h 12 m/39 秒
走行速度、ブーム延長時 24.4 m 以上	0.61 km/h 12 m/75 秒

機械分類	ISO 16368 で定義されているグループ B/タイプ 3

床荷重表	
最大輪荷重	9,637 kg
タイヤ接地圧	7.13 kg/cm^2 700 kPa
車体占有面の平均圧力（車軸延長時）	899 kg/m^2 8.81 kPa
車体占有面の平均圧力（車軸収納時）	1,421 kg/m^2 13.93 kPa

注記：床荷重表は概算値であり、オプションによる構成の違いを考慮したものではありません。安全上の要素を考慮して使用してください。

Genie では製品の改良を重ねていくことを方針としています。このため製品の仕様を予告なく変更することがあります。

仕様

モデル	SX-125 XC
高さ、操作時最大	40.10 m
高さ、作業台最大	38.10 m
高さ、収納時最大	3.05 m
水平最大到達距離	24.38 m
地下への到達距離	2.69 m
幅、車軸収納時	2.49 m
幅、車軸延長時	3.94 m
長さ、作業台収納時	14.25 m
奥行き、輸送時の収納状態（輸送用ジブ収納状態）	12.19 m
作業台最大積載重量、制限されない動作範囲	300 kg
作業台最大積載荷重量、制限された動作範囲	454 kg
最大風速	12.5 m/s
ホイールベース、車軸延長時	4.11 m
ホイールベース、車軸収縮時	4.11 m
最低地上高	38.1 cm
旋回半径、車軸延長時	
内側	2.9 m
外側	6.17 m
旋回半径、車軸収納時	
内側	8.03 m
外側	9.96 m
ターンテーブル回転角度(度)	360° 連続
ターンテーブルによる後方車体の揺れ、車軸延長時	1.02 m
ターンテーブルによる後方車体の揺れ、車軸収納時	0.56 m
操作パネル	12 V DC 比例
作業台寸法、1.8 m（奥行き x 幅)	183 x 76 cm
作業台寸法、2.4 m（奥行き x 幅)	244 x 91 cm
作業台水平維持	自動水平維持
作業台回転角度	160°
垂直方向のジブ旋回	135°
作業台 AC コンセント	標準
燃料タンク容量	151 リットル
油圧、最大（ブーム機能）	203 バール
油圧、最大（補助電源ユニット）	221 バール

ハンド/アームシステムが対象となる総振動値は 2.5 m/秒^2 を超過しません。

本体全体が対象となる補正加速度の最高二乗平均平方根値は 0.5 m/秒^2 を超過しません。

システム電圧	12 V
タイヤ サイズ	445D50/710、18 ply HD FF
重量	20,700 kg

(機械の重量は、オプション構成により異なります。機械の重量についてはシリアルラベルをご覧ください。)

周囲操作温度	-20°F～120°F -29°C～49°C

機械による騒音	
地上作業場での音圧レベル	84 dBA
作業台での音圧レベル	72 dBA
保証された音響レベル	109 dBA

最大定格勾配、収納状態、4WD		
カウンターウェイト上がり傾斜	40%	22°
カウンターウェイト下がり傾斜	40%	22°
横勾配	25%	14°

注記：定格勾配は、1 名の作業員が作業台にいる場合と車輪と地面との摩擦の状態により異なります。作業台への追加の重量は定格勾配を低減する場合があります。

最大許容外圧力	「傾斜センサー動作設定」の項参照

走行速度	
走行速度、収納時	4.8 km/h 12 m/8.8 秒
走行速度、上昇または伸長時	1.09 km/h 12 m/40 秒
走行速度、ブーム延長時 24.4 m 以上	0.61 km/h 12 m/75 秒
機械分類	ISO 16368 で定義されているグループ B/タイプ 3

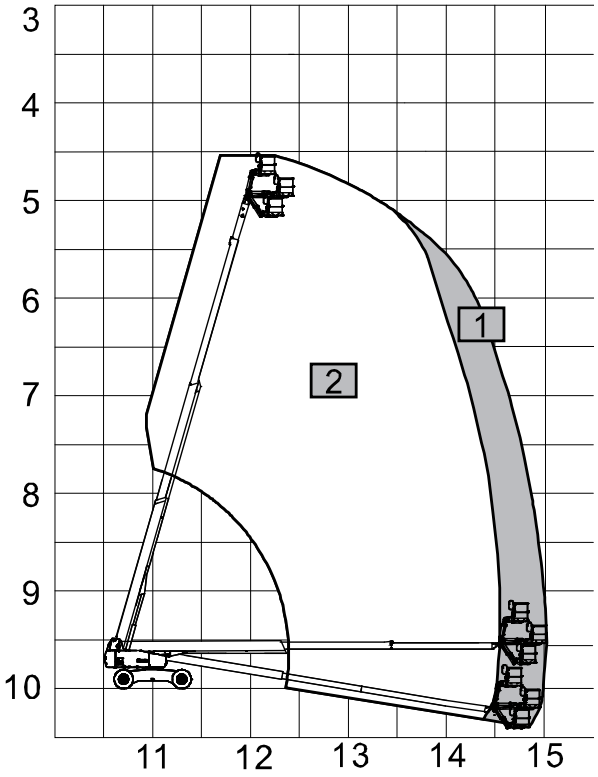
床荷重表	
最大輪荷重	10,086 kg
タイヤ接地圧	7.13 kg/cm^2 700 kPa
車体占有面の平均圧力（車軸延長時）	1,001 kg/m^2 9.81 kPa
車体占有面の平均圧力（車軸収納時）	1,583 kg/m^2 15.52 kPa

注記：床荷重表は概算値であり、オプションによる構成の違いを考慮したものではありません。安全上の要素を考慮して使用してください。

Genie では製品の改良を重ねていくことを方針としています。このため製品の仕様を予告なく変更することがあります。

仕様

SX-105 XC 動作範囲表



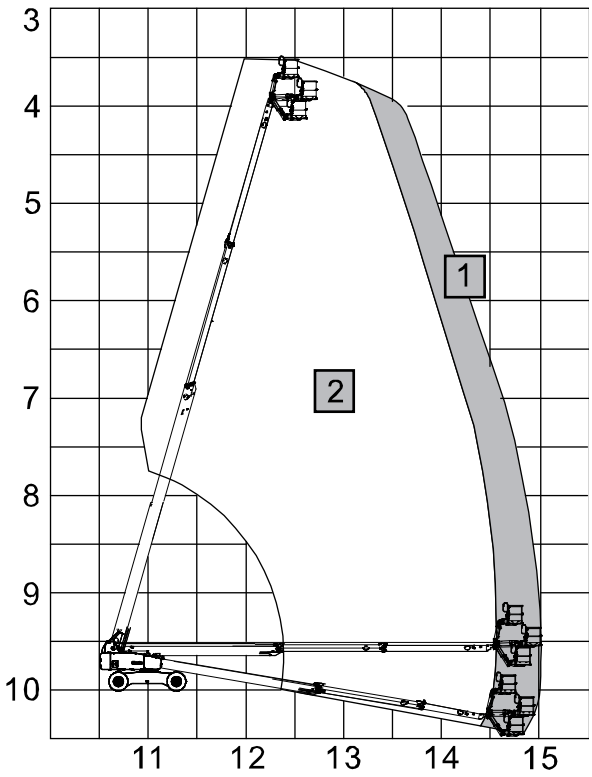
作業台最大積載荷重量

1 660 lbs/300 kg

2 1,000 lbs/454 kb

最大高さ			最大到達		
3	140 ft	42.67 m	**11**	0 ft	0 m
4	120 ft	36.58 m	**12**	20 ft	6.1 m
5	100 ft	30.48 m	**13**	40 ft	12.19 m
6	80 ft	24.38 m	**14**	60 ft	18.29 m
7	60 ft	18.29 m	**15**	80 ft	24.38 m
8	40 ft	12.19 m			
9	20 ft	6.1 m			
10	0 ft	0 m			

SX-125 XC 動作範囲表



作業台最大積載荷重量

1 660 lbs/300 kg

2 1,000 lbs/454 kb

最大高さ			最大到達		
3	140 ft	42.67 m	**11**	0 ft	0 m
4	120 ft	36.58 m	**12**	20 ft	6.1 m
5	100 ft	30.48 m	**13**	40 ft	12.19 m
6	80 ft	24.38 m	**14**	60 ft	18.29 m
7	60 ft	18.29 m	**15**	80 ft	24.38 m
8	40 ft	12.19 m			
9	20 ft	6.1 m			
10	0 ft	0 m			

代理店:

www.genielift.com